

資料

資料 1 学び合い共有シート

資料 2 Look Back Sheet

資料 3 学習サイト

資料 4 指導案

- ・ 6年 江戸幕府と政治の安定
天皇中心の国づくり
今に伝わる室町文化
- ・ 5年 これからの食料生産とわたしたち

令和4年度 長期研修員
白井 拓生



社会の授業をどう教えていいかわからないです。児童にも分かりやすく、簡単に授業を進める方法はありませんか。

資料1 学び合い共有シート

児童が協力し、自分たちで学び合うことができる「学び合い共有シート」を使ってみたらどうでしょう。



学び合い共有シートの使い方



- ① **めあてを確認**する。
- ② めあてを達成するために、教科書や資料集などから調べたこと・気付いたことを**自由に入力**していく。なかなか見付けられない人は**友達の入力したものを参考**に調べてみる。
- ③ グループで出されたもの（調べたこと・気付いたこと）を、みんなで確認し合い、**自分たちで分類し、キーワードを見付ける**。
- ④ 分類したもの（調べたこと・気付いたこと）を発表し、**学級で共有**する。
- ⑤ めあてに対する**自分の考え**を下の枠に入力する。
- ⑥ グループで話し合い、**考えを練り上げ**、まとめを入力する。



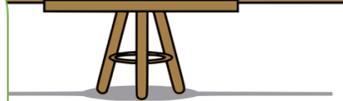
これが学び合い共有シートの使い方の説明です。めあてを確認すると、後は児童が教科書や資料集から調べ、共有し、めあてに対する考えをグループで練り上げていきます。



グループで考えをまとめる時の決まりごと

1. 調べた資料をもとに、めあてに対する自分の考えを**入力**する。
2. 司会や入力、発表者などの**仕事を分担**する。毎時間役割を代えよう。
3. きちんと個人の考えを**読み合う**。
4. 司会は、分からないところや疑問に思ったことがないか**グループの人に聞く**。
5. 質問する人は、**思いやりの気持ち**を忘れずに。
6. 司会は、誰の考えがよいか決めるのではなく、**全員の意見を上手にまとめていける**ように、話を進める。
7. 司会を中心に**よりよい考え**をつくり、発表者は**大きな声で堂々と発表**する。

タイムスケジュール	
・個人の考えを付せんに入力する	3分
・グループで読み合い、質問する	2分
・グループの考えにまとめ、入力する	5分



話し合いを進める時の司会などの役割分担、タイムスケジュールが分かる決まりごとも載せました。伝えることで、活動の効率化を図るとともに、自らの力でめあてを解決した達成感を味わうことができます。





なるほど。ただ授業でどう活用するかが、ちょっと分からないな。

それでは、単元を通しての学び合い共有シートの活用例を見ていきましょう。



単元を通した、学び合い共有シートの活用例 第6学年「江戸幕府と政治の安定」

それでは、つかむ過程から説明します。織田信長と豊臣秀吉、江戸幕府の政権の長さを比較し、なぜ江戸幕府が長く続いたのか、考えさせました。その予想を学び合い共有シートに入力していきました。



めあて：江戸時代が長く続いた理由を予想しよう。

<p>外国と貿易をしてたくさんお金を稼いだから</p> <p>外国からたくさん武器を手に入れたから</p> <p>外国</p>	<p>農民からたくさん年貢をもらったから</p> <p>豊臣秀吉のように後地をたくさんして、農民からたくさんお米をとったから</p> <p>たくさんのお金を集めたから</p> <p>百姓</p>	<p>みんなに信用されたから</p> <p>徳川家康が長生きだったから</p> <p>その他</p>	<p>江戸幕府がなくならないような、すごい仕組みを作ったから</p> <p>徳川家康がたくさんの大名を倒したから</p> <p>大名</p> <p>徳川家の権力が強かったから</p> <p>他に強い大名がいなかったから</p> <p>徳川家の軍が強かったから</p>
--	--	---	--

話し合いを進める時の児童は、自分たちで予想したことの共通点を見つけ、分類しました。分類したことで、どのような観点（大名・百姓など・外国との関係）を調べていけばよいか見通しをもつことができました。



確かに、児童は予想し、分類していますね。でも、そんなにうまくいくものなんですか？

そうですね。難しい部分もありますが、下記の「つかむ過程で意識すること」を読んで、挑戦してみてください。



つかむ過程で意識すること

- 児童が興味や疑問をもてるような導入での発問を考えること。
- 学習問題を設定する際、調べる観点や児童が調べていく手掛かりを明確にし、児童が学習問題を解決するための見通しをもつことができるようにすること。

※提示する資料などは、教科書や資料集の資料でOK！

発問を考えるのは、ちょっと大変そうだけど、教科書や資料集の資料でもできるなら、教材研究の時間が短縮されますね。資料を多く集めたりせず、資料にこだわりすぎないのがポイントですね。

そうですね。今回の資料も、織田・豊臣・徳川の政権の長さを比較しただけの資料です。その問いから、「江戸幕府が長く続いた理由を3つの観点から考えよう」を設定することができました。





今度は、追究する過程で、どう使うのか教えてください。

追究する過程では、児童が身に付けるべき知識が多いので、どうしても教師主導になってしまいがちですね。
ここでも、児童が主体的に取り組むことができるようにしました。



①めあてを確認し、見通しをもつ

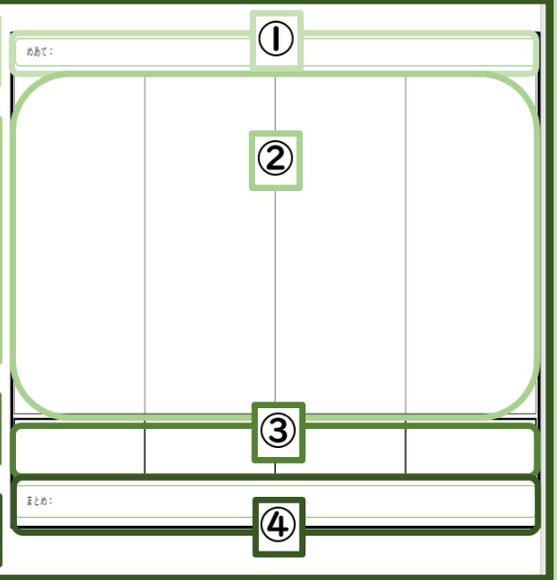
②調べたことを共有する

- ・教師が手掛かりを提示する
- ・児童が手掛かりをまとめる

⇒単位時間ごとに共有の仕方を選べる

③調べたことから個人の考えをもつ

④グループで考えを練り上げる



追究する過程の学び合い共有シートは、この様になっています。①～④のように授業の流れをシートに落とし込むことで、児童が主体的に学習問題や1単位時間ごとのめあてを解決することができます。

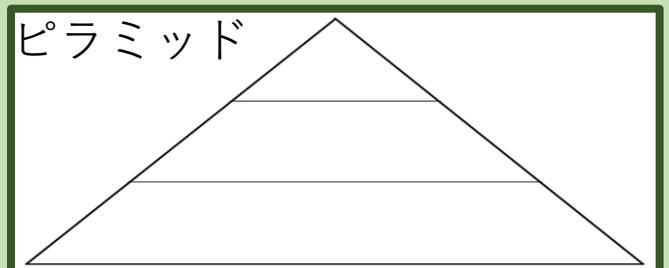
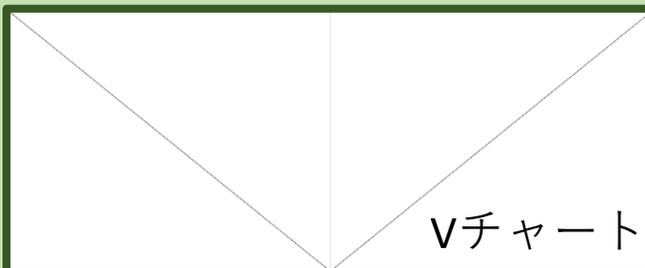
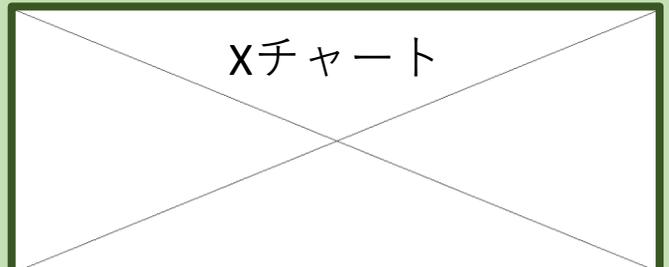
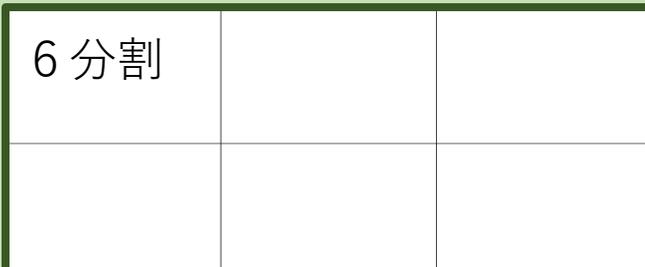


なるほど。使い方は分かりました。でも、2つ質問があります。一つ目は、この学び合い共有シートは、この枠の形しかないのか、二つ目は②の共有の仕方についてです。

追究する過程の学び合い共有シートは、この様になっています。調べたことを共有する枠は、シンキングツールとして、様々な枠を取り入れることができます。例えば、下記のような枠もあります。



学び合い共有シートのシンキングツール例





なるほど。単位時間ごとに使いやすいシートを教師が選べるんですね。

資料1 学び合い共有シートの活用例

そうです。この他にも、先生方が使いやすいものもたくさんあるので、ぜひ学び合い共有シートをアップグレードしてください。次は二つの使い分けでしたね。例を基に説明します。



○教師が手掛かりを提示する

めあて：日本の食料生産の課題について、考えよう。

資料1	資料2	資料3	資料4
<p>写真に国産のものが少ない</p> <p>外国産が多い</p> <p>アメリカ産の肉や外国の果物が多い</p>	<p>にんにくは外国産より3倍高い</p> <p>日本と比べるとう国産のほうが安い</p> <p>日本の価格は外国産より高い</p>	<p>カナダの食料自給率が高い</p> <p>日本の食料自給率は世界と比べると低い</p> <p>アメリカとフランスの自給率はほぼ同じ</p>	<p>納豆や豆腐は日本のものなのに、ほとんどの大豆が外国産</p> <p>肉はほぼ半分が外国にたよっている</p> <p>米の自給率が高く、野菜も意外と高い</p>

教師が手掛かりを提示する場合は、資料を手掛かりとし、読み取った気付きなどを基に、個人の考えをもつことができます。地理的分野での活用がおすすめです。



○児童が手掛かりをまとめる

めあて：江戸時代が長く続いた理由を、当時の人々のくらしから考えよう。

身分	百姓のくらし	差別	城下町
<p>江戸の社会は、武士、百姓、町人に分けられた</p> <p>様々な身分に分けられた</p> <p>身分によって住む場所が分けられた</p> <p>江戸時代の人口の80%が百姓だった</p>	<p>百姓は年貢を納めたり、力仕事を任せられたりしていた</p> <p>百姓は五人組をつくり、共同で責任をとらせた</p> <p>いろいろな農具があり、たくさん収穫できるようになった</p> <p>百姓は、農産物を作り、海や山の恵を得て暮らしていた</p>	<p>厳しく差別されてきた身分の人もいた</p> <p>この時代は差別されている人がいた</p>	<p>武士や町人は政治や経済の中心である城下町に集められた</p> <p>城下町は武士の住む武家屋敷など、身分や職業で住む場所が分けられていた</p>

児童が手掛かりをまとめる場合は、調べたことの共通点を見付け分類し、分類したことを基に個人の考えをもつことができます。歴史的分野での活用がおすすめです。



確かに、地理的分野は、写真やグラフ、インタビュー、新聞記事から読み取ることが多いですね。歴史的分野は、調べることが多く、その情報をまとめることが大切です。

この後、学級で調べたことを発表し、共有します。そうすることで、グループごとの知識の偏りや不足を補うことができます。



○児童が手掛かりをまとめる

めあて：江戸時代が長く続いた理由を、当時の人々のくらしから考えよう。

身分	百姓のくらし	差別	城下町
江戸の社会は、武士、百姓、町人に分けられた 身分によって住む場所が分けられた 様々な身分に分けられた 江戸時代の人口の80%が百姓だった	百姓は年貢を納めたり、力仕事を任せられたりしていた 百姓は五人組をつくり、共同で責任をとらせた いろいろな農具があり、たくさん収穫できるようになった 百姓は、農産物を作り、海や山の恵を得て暮らしていた	厳しく差別されてきた身分の人もいた この時代は差別されている人がいた	武士や町人は政治や経済の中心である城下町に集められた 城下町は武士の住む武家屋敷数など、身分や職業で住む場所が分けられていた

次は個人の考えをもつ場面です。グループで調べたことを共有し、分類してあるので、ここを見て「なぜ江戸幕府が長く続いたのか」自分で考えることができます。考えることが苦手な児童も、共有し、分類した部分を見ると書くことができます。

①五人組でお互いを監視させて、百姓を長く働かせて江戸が長く続いた

②人々の身分を分けて、武士を支えるような暮らしにすることで長く続いた

③身分を分け厳しく差別して無理やり支えさせたことにより長く続いた

④身分を分けたから

上に示しているものが、個人の考えです。児童の四名の考えを見ていくと、①の児童は、百姓のくらしから、②の児童は身分から、③の児童は差別から、④児童は他の児童が書いていたものを参考に、個人の考えを書きました。

調べたことが見られるから、それを根拠に自分の考えをもてるんですね。なかなか考えがもてない児童も、調べたことの共通点をまとめてあるから、安心して書けますね。他の児童を参考にできるのもよいですね。

グループで考えを練り上げる場面

最後は、個人の考えからグループの考えを練り上げる場面です。グループの考えを練り上げていくのですが、司会を中心に個人の考えを読み合い、学び合い共有シートを確認しながら行います。そして、身分によって住む場所を分けたことに児童たちは気が付き、そのことも加え、まとめをつくりました。

身分によって住む場所を分けたり、差別したりし、身分にあった負担をかけさせた。また百姓は運営で税金や年貢を納めさせていたから江戸幕府が長く続いた。

児童が自分たちでこのようなまとめをつくることのできるんですね。調べることから自分たちで行うことや、しっかりと自分の考えをもたせることで、学習を児童自身で進めることができますね。

そうですね。学び合い共有シートは、学習の流れをつかみやすいつくりになっているから、児童が自分たちで学習を進められます。また、互いの考えを共有することで、自分の考えを広げたり、深めたりもできるんです。

学び合い共有シートを使うと、児童が自分たちで学習を進められるという話だったのですが、集中が続かない児童など主体的に取り組むことができない児童がいたりすることはないのですか。

確かに心配になりますね。主体的に取り組むことができない児童が出ないように、学習の進め方を振り返り、改善することができる「Look Back Sheet」を活用します。今度は、そのLook Back Sheetの説明をしますね。

Look Back Sheet

単元名	江戸幕府と政治の安定 (教科書P.76~87)	名前	_____
単元の課題	江戸幕府が長く続いた理由を、3つの視点から考えていこう。		

注意事項：日付はダブルクリックをするとカレンダーが出てくるので、そこから選んでください。
振り返りには、グループや全体的話し合いを通して、考えたことなどを書きましょう。
アンケートは▼から合うものを選んでください。(A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった)

日付	☆振り返り☆	粘り強く調べ学習に取り組んだ	友だちと協力して取り組んだ	グループの話し合いで自分の意見が認められた	自分の考えがさらによくなった
	①				

☆単元の学習を振り返って、グループで学習してよかったところやもう少し工夫や改善したほうがよいところ☆

③	
---	--

☆単元の学習を振り返って、今後の学習や生活に生かせること、つながること☆

--	--

これがLook Back Sheetの全容です。

- ① 1単位時間ごとの終末に行う振り返りです。学習したことで考えが変化したことや新たな疑問、生活との関わり、学び合い活動について入力できます。
- ② 学習の取り組みについてや学び合い活動で考えが広がったかについて評価を選択する枠を設けました。
- ③ 単元のまとめに、学び合い活動と学習内容の振り返りを入力できます。

Look Back Sheetは、振り返りシートってことですね。私も授業で使っていますが、どんなところが違うのですか。

大きな違いとしては、Look Back Sheetの評価項目を厳選し、児童が学び合い活動を振り返ることができるようにしたことです。そうすることで、児童が次時の学習の改善を意識することができます。

なるほど。Look Back Sheetを使うと、児童が学習の改善の意識を高め、自ら進んで、学習に取り組めるんですね。



学び合い共有シートとLook Back Sheetを使うよさは分かりました。でも、やはり児童にきちんと知識が定着しているか不安なのですが、その部分はどのようにしているのですか。

そうですね。児童が知識を定着させていなかったら意味がないですね。そのために、学習サイトをWebページ上で開設しました。



学習サイト

「江戸幕府と政治の安定」がスタート！
動画や板書、重要ワードを載せていきます。

① テスト勉強フォーム

★もっと知りたい人、ひらめきノートの材料がほしい人は使ってください★

- ② ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>
- ② ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>
- ② ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>



江戸幕府が続いた理由を
外国との関係から考えて
いこう！

【江戸幕府と政治の安定 5 時間目・重要ワード】

- ④ ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>
- ④ ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>
- ④ ①の安定 (NHK for School 小学版)
<http://www.nhk.or.jp/school/program/010000.html>

これが学習サイトの全容です。

- ①：単元のテストに向けたテスト勉強用のフォーム
- ②：興味をもった児童が自主学習に活用できるようなサイトのリンク
- ③：授業の板書
- ④：授業で押さえるべき重要なワードとその説明

①～④の他に、動画サイトや前時の児童の振り返りなどを載せることができます。

児童が学習を振り返りたい時にいつでもどこでも確認することができるので、児童の主体性を高めることができます。

※新しい情報が上段に、古いものは、下段に移行します。



このサイトを活用すれば、児童は授業の内容を振り返ることができるんですね。自主学習にも役立ちそうだし、ぜひ使ってみたいです。

まとめ

①めあてを確認し、見通しをもつ

②調べたことを共有する
・教師が手掛かりを提示する
・児童が手掛かりをまとめる
⇒単位時間ごとに共有の仕方を選べる

③調べたことから個人の考えをもつ

④グループで考えを練り上げる

①

②

③

④

Look Back Sheet

単元名 江戸幕府と政治の安定 (教科書P76～87) 名前

単元の課題 江戸幕府が続いた理由を、3つの視点から考えていこう。

注意事項：日付はダブルクリックするとカレンダーが出てくるので、そこから選んでください。振り返りには、グループや全体の話し合いを選んで、考えたことなどを書きましょう。アンゲートは▼から合うものを選んでください。(A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった)

日付	☆振り返り☆	自分の考えのまとめ ・自分自身の ・今の生活と結びつけて書いたらいいよ。 ・グループでの話し合いでもめめめめ	振り返る グループに 振り返り	友だちと 話ひいて 振り返り	グループの 話し合いで 自分の考えが よくなった	自分の考えが よくなった

☆単元の学習を振り返って、グループで学習してよかったところやもう少し工夫や改善したほうがよいところ☆

☆単元の学習を振り返って、今後の学習や生活に生かせること、つながること☆

学び合い共有シートとLook Back Sheet、学習サイトを使って、児童が学習問題を主体的に解決することができる手助けをしていきましょう。



社会科学学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時〇年〇組（〇年〇組教室） 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 日本の歴史 江戸幕府と政治の安定

2 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）の次の内容を受けて設定した。

内容

（2）我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

（キ）江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。

（シ）遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに注目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

本単元では、江戸幕府による様々な政策と身分制の理解を手掛かりとして、武士による政治の安定について以下の点について考慮し、学習を展開していく。

- ・江戸幕府の始まりについては、江戸幕府が大名の配置を工夫することによって政治を安定させようとしたことが分かるようにする。
- ・将軍による支配の安定については、武家諸法度の制定や日光東照宮、江戸城の建設が、将軍による大名の統制に役立ったことが分かるようにする。
- ・参勤交代については、大名が1年おきに将軍のもとで服属の態度を示すことを義務付けられたことの意味を考えられるようにする。
- ・身分制については、人々が身分に応じてどのように暮らしていたのかを重点的に考えられるようにする。
- ・鎖国については、キリスト教が禁止されたことの意味とあわせて、鎖国のもとにおける我が国と外国との関係についても捉えられるようにする。

3 指導方針

〇つかむ過程では

- ・学習問題を作る際に、児童が「どのようにして江戸幕府は250年以上も続いたのか」という疑問をもつことができるように、織田信長と豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代と江戸時代の長さを比較させる。その後、江戸幕府が長く続いた理由を予想させ、その予想から共通点を見付けさせ、調べる観点をもたせる。そして、教師主導でなく学級全体で学習問題を作り上げていくことで、見通しをもち主体的に学習に取り組むことができるようにする。

〇追究する過程では

- ・調べ学習を行う際に、教師が調べる観点（大名への政策・人々への政策・外国への政策）を提示し、児童が観点を基に円滑に調べ学習を行うことができるようにする。
- ・学び合い活動をする際に、グループ内で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし学習問題やその解決に向けためあてを達成するために協力し、取り組むことができるようにする。
- ・学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合い、個人の考えをもたせた上で、グループで考えを練り上げることで、めあての達成に向けて、進んで学習に取り組むことができるよう

にする。

- ・振り返り活動を取り入れ、自らの学習を振り返り、個人の考えを基にグループの考えを練り上げる際の思考の変容や深まりに気付く場を設定することで、自らの学習を改善することができるようにする。

○まとめる過程では

- ・まとめる際に、追究する過程で活用した学び合い共有シートの各時間のまとめを基に児童の言葉で学習問題に対するまとめを考えることができるようにする。
- ・様々な立場の人が江戸幕府についてどのように考えていたかを考えさせることで、多面的・多角的にまとめていくことができ、学習内容の知識・技能の定着を図る。

○家庭で学習する場面では

- ・「学習サイト」を更新し、授業で大切なキーワードや板書、動画などを視聴できるようにすることで、学習内容を振り返ったり、知識や興味・関心を広げたりすることで、主体的な学習につなげることができるようにする。

4 単元の目標

(1) 知識及び技能

江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを、文化財や地図、年表などの資料で調べ、まとめ、理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

江戸幕府はどのように始まったか、幕府はどのように世の中を治めたかなどの問いを見出し、関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制について調べ、それらを手掛かりとし、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことについて、予想したり学習の計画を立てたりして、協力して学ぶことを通して、学習を振り返り、自らの考えの広がりや深まり、学習の進め方の改善を意識しながら、学習問題を追究し、解決する。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出している。
- ② 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり複合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことについて、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。
- ③ Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。

6 指導と評価の計画（全6時間）

過 程	時 間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	重 点	◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
--------	--------	---------------------------	--------	--------------------------------

つかむ	<p>1 ●提示した資料から学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○安土桃山時代と江戸時代の長さを視覚的に捉え、江戸幕府が長く続いた理由について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を予想しながら、学習問題を作ろう。</p> </div> <p>○長く続いた理由を予想し、学び合い共有シートに入力する。</p> <p>○予想を分類し「大名への政策」「当時の人々の暮らし」「外国との関係」に観点を絞り、単元の見通しをもつ。</p> <p>○つかむ段階で児童の予想から絞った調べる観点を基にめあてを作成する。</p>	思態	<p>◇安土桃山時代と比較し、江戸時代が長く続いた理由を予想することを通して、問いを見出している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(思①)[記]></p> <p>◇武士による政治が安定したことについて予想を立て、学習問題を作り、学習を計画し、学習問題を解決しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態①)[記]></p>
<p>単元の学習問題 江戸幕府が長く続いた理由を、3つの観点(大名への政策・当時の人々の暮らし・外国との関係)から考えよう。</p>			
	<p>○次時につながるように観点を基に児童が調べる順番を決め、学習計画を立てる。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>		<p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet(態③)></p>
追究する	<p>2 ●江戸幕府を安定させるために大名への政策について調べ、理解させる。</p> <p>3 ○つかむ過程の予想を想起し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を大名に対して行った政策から考えよう。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。[☆]</p> <p>○江戸幕府が安定した理由を「大名の政策」の観点で、本時と次時の2時間で、調べまとめる。</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代などの幕府の政策を理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知)></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、自己の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態②)></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet(態③)></p>

4	<p>●身分制と人々の暮らしについて調べ、武士を中心とした身分制について理解させる。</p> <p>○つかむ過程の予想を想起し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を当時の人々の暮らしから考えよう。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。[☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸時代の身分制や人々に暮らしを理解している。 <small><学び合い共有シート(知)></small></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、自己の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <small><学び合い共有シート(態②)></small></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <small><Look Back Sheet(態③)></small></p>
5	<p>●キリスト教の禁止や鎖国について調べ、それらの政策による社会への影響を理解させる。</p> <p>○つかむ過程の予想を想起し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を外国との関係から考えよう。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。[☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、鎖国などの幕府の政策を理解している。 <small><学び合い共有シート(知)></small></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、自己の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <small><学び合い共有シート(態②)></small></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <small><Look Back Sheet(態③)></small></p>

ま と め る	6	<p>●学習をまとめる活動を通して、当時の人々が幕府の政治についてどう思ったか考え、表現させる。</p> <p>○江戸幕府が長く続いた理由を多面的・多角的に捉えるために、前時の学習を振り返り、「外様大名」「百姓」「オランダ商人」の立場になって江戸幕府をどう思っていたかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 江戸幕府の政治について、当時の人々がどのように思っていたかを考え、学習したことをまとめよう。</p> </div> <p>○当時の人々が幕府の政治についてどう思ったかを個人で考え、まとめていくことを伝える。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	思 態	<p>◇江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。 <課題(思②)></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet(態③)></p>
------------------	---	--	--------	--

7 第1時の展開(1/6)

(1) ねらい

提示した資料から学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

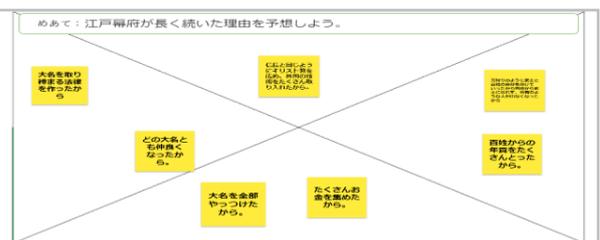
(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	○研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 15 分	1 本時の学習のめあてを確認し、見通しをもつ。 ○前単元で学習した安土桃山時代の復習と江戸幕府が開かれるまでを学習し、本単元の見通しをもつ。 ・関ヶ原の戦いに勝って、徳川家康が力をもって幕府を作ったのだね。	●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前単元の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○児童が安土桃山時代から江戸時代へ変わったことが分かるように、江戸幕府が開かれるまでについて関ヶ原の戦い絵図を紹介しながら、説明を行う。
展 開 ① 15 分	2 江戸幕府が長く続いた理由について予想し、学習問題を設定する。 [☆]	○安土桃山時代と江戸幕府の長さを視覚的に捉え、比較することで、なぜ江戸幕府が長く続いたかに興味をもたせる。
	<p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を予想しながら、学習問題を作ろう。</p>	
	○江戸時代が長く続いた理由を予想し、学習問題を設定する。 [☆] ・大名を取り締まる法律を作ったのかな。 ・秀吉の刀狩りみたいに、身分を分けたのだと思うよ。	○グループで学び合い共有シートを活用し、江戸時代が長く続いた理由を予想し、自由に入力することができるようにする。 ○江戸幕府が長く続いた理由を予想することができるように、天皇中心の国づくりや鎌倉幕府の成立などで学習した政策などを想起するように伝える。

	<ul style="list-style-type: none"> ・信長のようにキリスト教は認めたのではないかな。 ・なぜ、江戸幕府は250年以上も続いたのだろう。 ・織田信長や豊臣秀吉と徳川家康が行った政治は違うのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想する際に、江戸幕府が長く続いた理由には、様々な立場の人々とどのように関わっているか問い掛け、学習する際の観点を作り、学習問題の設定や学習計画を立てやすくする。 ●江戸幕府が長く続いた理由を予想することができない児童も、グループで出た予想を参考にするよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ○予想を全体で共有し合い、本単元の学習問題と調べる観点（大名への政策・当時の人々の暮らし・外国との関係）を共有する。 ○学習問題を設定する際に、再度江戸時代が他の時代と比較して長く続いたことを意識させ、単元の目標を踏まえた学習問題を設定する。
<p>単元の学習問題 江戸幕府が長く続いた理由を、3つの観点（大名への政策・当時の人々の暮らし・外国との関わり）から考えていこう。</p>		
		<p>◇安土桃山時代と比較し、江戸時代が長く続いた理由を予想することを通して、問いを見出している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート（思①） [記]></p>
<p>展開② 10分</p>	<p>3 学習計画を作成する。</p> <p>○調べる観点（大名への政策・当時の人々の暮らし・外国との関係）をどの順に調べていくか学習計画を作成する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは大名をどうしたか知りたい。 ・キリスト教がどうなったか、外国との関係を先に調べたい。 ・当時の人々は、どのような暮らしをしていたのかな。 	<p>◎学習問題に対して調べる観点をどの順で調べればよいかを考えさせ、次時からのめあてにし、児童の単元の学習意欲を高める。</p> <p>●学習計画を立てる際に意見をなかなか言うことができない児童は、他の児童の発言を聞き、意思表示ができるようにハンドサインを活用するように促す。</p> <p>◇武士による政治が安定したことについて予想を立て、学習問題を作り、学習を計画し、学習問題を解決しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><発言・学び合い共有シート（態①）></p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん予想が出て、これからの授業が楽しみだ。 ・前の学習を生かして、予想してすごいと思った。 ・友達がたくさん入力していたので、私も次回は頑張りたいです。 	<p>◎どのような意見が参考になったかや新たな気づき、個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet（態③）></p>

(4) 板書計画

<p>本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を予想しよう</p>
<p>学習問題 江戸幕府が長く続いた理由を、3つの観点から考えていこう。</p>



8 第2時の展開（2/6）

(1) ねらい

江戸幕府を安定させるために大名への政策について調べ、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。 ○つかむ過程での予想から本時の学習を見通す。 ・大名に対する法律を作ったのかな。 ・江戸幕府が大名を取り締まったからかな。	○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。 ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○学習問題を解決するための調べる観点（大名に対して）の予想を振り返り、めあてをつかむ。
本時のめあて 江戸幕府が長く続いた理由を大名への政策から考えよう。		
展開 ① 25分	2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有する。 ○教科書の資料を読み取り、気付いたことをグループで共有する。 [☆] ・大名の配置が工夫されているよ。 ・武家諸法度という大名を取り締まる法律ができたよ。 ・参勤交代で大名は領地と江戸を行き来していたのだね。 ・大名を取りつぶしていたのだね。 ・鎌倉幕府よりしっかりした幕府のしくみを作ったのだね。	○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。 ○本時と次時の2単位時間を活用し、めあてを達成していくことを伝える。 ◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。 ◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。 ●教科書や資料集の文章も読み、江戸幕府が大名に対して行ったことを確認するように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代などの幕府の政策を理解している。 <small><学び合い共有シート(知)></small>
展開 ② 10分	3 学級で各グループの調べた内容を共有する。 ○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。 ・参勤交代で、一年おきに江戸と領地を行き来させた。 ・武家諸法度を定め、違反した大名を	◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。 キーワード：大名の配置、取り潰し、武家諸法度 江戸城や日光東照宮の改修、参勤交代 ◎次時に、学び合い活動で共有したことからめあてに対

	<p>取り潰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名の配置を工夫した。 一国一城令を出した。 江戸城や日光東照宮の改修、土木工事などを大名にさせた。 	<p>する個人の考えをもち、グループでまとめていくことを伝え、次時の学習の見通しをもたせる。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習で、自分が気付かなかった内容があったので、次回はしっかり調べたい。 みんなの意見を確認しながらできたから、自分の意見も自信をもって入力できた。 武家諸法度という法律を作って取り締まるのは、今と同じだと思った。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気付き、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③)></p>

(4) 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を大名に対して行った政策から考えよう。</p>	
<p>本時のキーワード</p> <p>大名の配置、取り潰し、江戸城や日光東照宮の改修、参勤交代、武家諸法度</p>	

9 第3時の展開 (3/6)

(1) ねらい

江戸幕府を安定させるために大名に行った政策について調べ、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

<p>時間</p>	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
<p>導入 10分</p>	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <p>○前時に調べたものをグループでまとめ、全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕府は大名に力をもたせないように色々工夫していたね 	<p>○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○学習問題を解決するための調べる観点(大名に対して)で調べたものを振り返り、めあてをつかむ。</p>
	<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を大名に対して行った政策から考えよう。</p>	

<p>展開① 20分</p>	<p>2 江戸幕府が大名に対してどのようなことを行い、従えていったか学び合い共有シートを活用し、グループで考えを練り上げる。</p> <p>○調べたことを基に個人の考えをもちグループで話し合い、めあてに対するまとめを考える。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外様大名は江戸から遠い領地にして、親藩を近くに配置したから、江戸幕府は攻め込まれにくくなったと思う。 ・参勤交代をさせることで、莫大な費用を大名に使わせからだと思う。 ・武家諸法度を定めて、従わなかった大名を取り潰したから、幕府に逆らえなかったと思う。 ・鎌倉幕府よりも江戸幕府は整った組織を作ったから、長く続いたのだね。 ・日光東照宮を立て直し、大名を連れて参拝することで、幕府の力を見せつけたから、大名が逆らわなくなったと思う。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <p>●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。</p> <p>●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。</p> <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代などの幕府の政策を理解している。 <small><学び合い共有シート（知）></small></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <small><学び合い共有シート（態②）></small></p>
<p>展開② 10分</p>	<p>3 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参勤交代を命じたことで、大名に多くの費用を使わせる工夫をした。 ・一国一城令を出し、反乱を起こさせないように工夫した。 ・武家諸法度を作り、従わない大名を取りつぶした。 ・外様大名を遠くに配置するなど、大名の配置を工夫した。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div data-bbox="762 1205 1382 1440" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ（例） 江戸幕府は大名の配置を工夫したり、武家諸法度で大名を統制したり、参勤交代で、多くの費用を使わせたりし、幕府に逆らう力をもたせず、大名を従えていった。</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめるときに江戸幕府が大名に対して行ったことで、なぜ江戸幕府が長く続いたのかをみんなで考えることができた。 ・グループで話し合っ、自分の考えに他の人の意見が付け加わってまと 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気付き、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がり</p>

<p>めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回も個人でしっかり考えて、グループの話合いで発表したい。 	<p>や深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
---	---

(4) 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を大名に対して行った政策から考えよう。</p>	
<p>本時のキーワード</p> <p>大名の配置、取り潰し、江戸城や日光東照宮の改修、参勤交代、武家諸法度</p>	

10 第4時の展開 (4/6)

(1) ねらい

身分制と人々の暮らしについて調べ、武士を中心とした身分制について理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <p>○つかむ過程での予想から本時の学習を見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秀吉の刀狩りのように武士と農民の身分をしっかりと分けたのだと思う。 ・農民は今までと変わらず、税などの負担が大変だったかな。 	<p>○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○学習問題を解決するための調べる観点(人々に対して)の予想を振り返り、めあてをつかむ。
	<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を当時の人々の暮らしから考えよう。</p>	
展開	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有する。</p> <p>○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分によって住む場所が決められていたのだね。 ・それぞれの立場に税や負担があったのだね。 ・人口の割合では百姓が一番多いね。 	<p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。</p> <p>◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。</p> <p>○教科書の文章も読み、江戸幕府が人々に対してどのようなことをしたか確認するように声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。

<p>展開 ② 7分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有する。</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分を武士、百姓、町人に分けた。 ・身分によって住む場所を決めた。 ・百姓には様々な負担があった。 ・農業の技術が進歩した。 ・さらに低い身分の人もいた。 	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>キーワード：身分制度、百姓の負担、城下町と町人</p> <p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸時代の身分制や人々に暮らしを理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知)></p>
<p>展開 ③ 10分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○江戸幕府が当時の人々に対してどのようなことを行い、従えていったか学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分を分けたことで、農業や工業、商業が発展していったから、江戸幕府は長く続いたのだと思う。 ・身分を固定し、豊臣秀吉のように下剋上が起きないようにしたことで江戸幕府は長く続いたのだと思う。 ・それぞれの身分に応じて、様々な負担をさせたことで、江戸幕府は安定し、長く続いたと思う。 ・特に百姓の負担は重かった。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割(司会、入力、発表者、質問)を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態②)></p>
<p>展開 ④ 5分</p>	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府は身分によって住む場所を決めたことで、農業や商業が発展した。 ・百姓の負担が江戸幕府を支えた。 ・それぞれの身分に応じて様々な負担をさせたから、江戸幕府は安定して長く続いた。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ(例) 江戸幕府は人々に対して、武士・百姓・町人と身分を固定し、その暮らしにあった負担をさせた。</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめるときに江戸時代の人々の暮らしを基に、なぜ江戸幕府が長く続いたのかをみんなで考え 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いにつ

<p>ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで話し合っ、自分の考えに他の人の意見が付け加わった。 次回も個人でしっかり考えて、グループの話合いで発表したい。 	<p>いて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
---	--

(4) 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を当時の人々の暮らしから考えよう。</p>	
<p>本時のキーワード</p> <p>身分、百姓の負担、城下町と町人</p>	

11 第5時の展開 (5/6)

(1) ねらい

キリスト教の禁止や鎖国について調べ、それらの政策による社会への影響を理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

<p>時間</p>	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
<p>導入5分</p>	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <p>○つかむ過程での予想から本時の学習を見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国とたくさん貿易したのかな。 キリスト教はどうなったのかな。 	<p>○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 <p>○学習問題を解決するための調べる観点(外国との関係)の予想を振り返り、めあてをつかむ。</p>
<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を外国との関係から考えよう。</p>		

<p>展開 ① 13分</p>	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有する。</p> <p>○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教を禁止した。 ・キリスト教の弾圧がきっかけで島原・天草一揆が起きた。 ・出島だけで外国との貿易を行った。 ・幕府が貿易を独占した。 	<p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要な言葉を探し出すように伝える。</p> <p>◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書の文章も読み、江戸幕府がどのように外国と関わったか確認するように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。
<p>展開 ② 7分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有する。</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府はキリスト教を禁止した。 ・絵踏みでキリスト教徒か確認した。 ・税の負担やキリスト教の弾圧で島原・天草一揆が起きた。 ・キリスト教を広めないオランダと中国のみ出島で貿易し、鎖国をした。 	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>キーワード：キリスト教の禁止、島原・天草一揆、鎖国、出島</p> <p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、鎖国などの幕府の政策を理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知)></p>
<p>展開 ③ 10分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○江戸幕府が外国との関係や行った政策について学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国との貿易を幕府が長崎の出島に制限し、独占したから長く続いたのではないか。 ・反乱を起こさせないようにキリスト教を禁止したから、江戸幕府が長く続いたのではないか。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割(司会、入力、発表者、質問)を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話合いの中心になる児童を決め、話合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、グループでまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態②)></p>
<p>展開 ④ 5分</p>	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教徒が言うことを聞かなく 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ(例) 江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり貿易船の出入りを制限することによって貿易を独占し、幕府の支配を安定させようとした。</p> </div>

	<p>なることを恐れて、幕府は取り締まりを強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国船の出入りを長崎の出島に制限することで、外国との貿易を独占することができた。 	<p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p>
ま と め 5 分	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめるときに江戸時代と外国との関わりを基に、なぜ江戸幕府が長く続いたのかをみんなで考えることができた。 ・グループで話し合っ、自分の考えに他の人の意見が付け加わった。 ・次回も個人でしっかり考えて、グループの話し合いで発表したい。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③)></p>

(4) 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を外国との関係から考えよう。</p>	
<p>本時のキーワード</p> <p>キリスト教の禁止、島原・天草一揆、鎖国、出島</p>	

12 第6時の展開 (6/6)

(1) ねらい

学習をまとめる活動を通して、当時の人々が幕府の政治についてどう思ったか考え、表現させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時 間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導 入 5 分	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <p>○学習内容を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○本時のめあてを提示し、前時までの学習を振り返り、学習問題を整理していくことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前時までの学習内容と調べる観点の学級のまとめ(大名、当時の人々、外国との関係)を振り返る。
<p>本時のめあて</p> <p>江戸幕府の政治について、当時の人々がどのように思っていたかを考え、学習したことをまとめよう。</p>		

<p>展開① 20分</p>	<p>2 江戸時代の政治について、当時の人々の立場になってまとめる。</p> <p>○当時の人々の立場になってまとめ、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外様大名は、力を蓄えられず江戸幕府に従わざるを得なかったのだね。 ・百姓は、税の負担が多くて大変だな。 ・オランダ商人は、キリスト教を広めないで、これからは貿易を続けたいな。 	<p>◎江戸時代の政治について自分の考えをまとめるために、学習した3つの視点の人物（外様大名・百姓・オランダ商人）の立場になって考えさせる。</p> <p>○学習支援ソフトで課題に出し、当時の人々の考えを全員が個人で取り組むことができるようにする。</p> <p>●なかなか書けない児童には、学習で使用した学び合い共有シートを振り返るように伝える。</p> <p>○立場によって考えが異なることを知るために、各視点（外様大名・百姓・オランダ商人）の考えを発表し合う。</p> <p>◇江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。</p> <p style="text-align: right;"><課題（思②）[記]></p>
<p>展開② 10分</p>	<p>3 本単元のまとめを行う。</p> <p>○単元の学習問題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>単元の学習問題</p> <p>江戸幕府が長く続いた理由を、3つの観点から考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・外様大名は幕府が行った様々な政策によって従わざるを得なかったのだね。 ・百姓は負担が多くて不満だったのではないかな。 ・オランダと中国だけだと、世界の情報が分からないのではないかな。 	<p>●今までの3つの観点（大名への政策、当時の人々との暮らし人々、外国との関係）を振り返る。</p> <p>○単元を通して学習してきた3つの観点（大名への政策、当時の人々との暮らし人々、外国との関係）に、前展開で取り組んだ3つの立場（外様大名・百姓・オランダ商人）の考えを関連付けて、まとめに取り入れる。</p> <p>○次々単元につなげるために、江戸幕府が今後どのようなようになっていかも予想することができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ（例）</p> <p>○江戸幕府は大名の配置を工夫したり、武家諸法度で大名を統制したり、参勤交代で、多くの費用を使わせたりし、幕府に逆らう力をもたせず、大名を従えていった。そのため、外様大名なども従わざるを得なかったのではないだろうか。</p> <p>○江戸幕府は人々に対して、武士・百姓・町人と身分を固定し、その暮らしにあった負担をさせた。そのため、百姓は不満をもつ者もいたのではないだろうか。</p> <p>○江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり貿易船の出入りを制限することによって貿易を独占し、幕府の支配を安定させようとした。そのため、外国の情報が入らなくなり、技術的に遅れてしまったのではないか。</p> </div>
<p>まとめ 10分</p>	<p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い共有シートを活用して、学習を進めると友達の意見も参考にしながら、自分の意見を書くことができた。 ・次の単元でも自分たちで学習を進めていきたい。 ・友達と協力することで、一人の意見 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>◎単元を通しての学習内容について振り返りと学び合い活動に関しての振り返りを記述し、次単元への意欲につなげる。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想と単元を通して学習した内容の違いについて考えるように促す。</p>

	<p>より、考えが深まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見だけでは気付けないことがたくさんあった。 ・グループで学習を進めると、自分の役割もあるので、グループのためにしっかり取り組もうと思うことができた。 	<p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
--	---	---

(4) 板書計画

<p>学習問題</p>	<p>まとめ (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸幕府は大名の配置を工夫したり、武家諸法度で大名を統制したり、参勤交代で、多くの費用を使わせたりし、幕府に逆らう力をもたせず、大名を従えていった。そのため、外様大名なども従わざるを得なかったのではないだろうか。 ○江戸幕府は人々に対して、武士・百姓・町人と身分を固定し、そのくらしにあった負担をさせた。そのため、百姓は不満をもつ者もいたのではないだろうか。 ○江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり貿易船の出入りを制限することによって貿易を独占し、幕府の支配を安定させようとした。そのため、外国の情報が入らなくなり、技術的に遅れてしまったのではないか。
-------------	--

社会科学学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時〇年〇組（〇年〇組教室） 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 日本の歴史 天皇中心の国づくり

2 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）の次の内容を受けて設定した。

内容

（2）我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

（イ）大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解すること。

（シ）遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに注目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

聖徳太子が法隆寺を建立し、小野妹子らを隋(中国)に派遣し、政治の仕組みなど大陸の文化の摂取を積極的に行ったこと、中大兄皇子らによる大化の改新で政治の改革が行われ天皇中心の国造りを目指したこと、聖武天皇の発案の下、国家事業として大仏造営が行われたこと、来日した鑑真が仏教の発展に大きな働きをしたことなどが分かるようにする。そして、これらのことを手掛かりに天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにする。また地図などの資料で歴史上の出来事の位置や広がりなどを読み取る技能を身に付けたり、歴史上の人物の願いを考えたりすることも大切にしたい。

3 指導方針

○つかむ過程では

- ・学習問題を作る際に、児童が「どのように天皇中心の国造りが行われたか」という疑問をもつことができるように、聖徳太子が行った政治について調べ、まとめる。その後、どのように天皇中心の国造りが行われた理由を予想させ、その予想から共通点を見付けさせ、調べる観点をもたせる。そして、教師主導でなく学級全体で学習問題を作り上げていくことで、見通しをもち主体的に学習に取り組むことができるようにする。

○追究する過程では

- ・調べ学習を行う際に、教師が調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）を提示し、児童が観点を基に円滑に調べ学習を行うことができるようにする。
- ・学び合い活動をする際に、グループ内で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし学習問題やその解決に向けためあてを達成するために協力し、取り組むことができるようにする。
- ・学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合い、個人の考えをもたせた上で、グループで考えを練り上げることで、めあての達成に向けて、進んで学習に取り組むことができるようにする。
- ・振り返り活動を取り入れ、自らの学習を振り返り、個人の考えを基にグループの考えを練り上げる際の思考の変容や深まりに気付く場を設定することで、自らの学習を改善することができるようにする。

○まとめる過程では

- ・まとめる際に、追究する過程で活用した学び合い共有シートの各時間のまとめを基に児童の言葉で学

習問題に対するまとめを考えることができるようにする。

- ・聖武天皇や当時の人々（農民）が、どのように天皇中心の世の中について考えていたか考えさせることで、多面的・多角的にまとめていくことができ、学習内容の知識・技能の定着を図る。

○家庭で学習する場面では

- ・「学習サイト」を更新し、授業で大切なキーワードや板書、動画などを視聴できるようにすることで、学習内容を振り返ったり、知識や興味・関心を広げたりすることで、主体的な学習につなげることができるようにする。

4 単元の目標

(1) 知識及び技能

大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

天皇中心の国造りがどのように始まり、どのように行われていったのかなどの問いを見出し、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について考え、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想したり学習の計画を立てたりして、協力して学ぶことを通して学習を振り返り、自らの考えの広がりや深まり、学習の進め方の改善を意識しながら、学習問題を追究し、解決する。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べることを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ① 当時の世の中の様子や聖徳太子の行っていた政治に着目して、問いを見出し、調べたいことや疑問を考えている。
- ② 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。
- ③ Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。

6 指導と評価の計画（全6時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆]：ICT活用	重点	◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
つかむ	1	●聖徳太子が行った政治などについて調べ、今後どのように国造りが進んでいったかについて調べたいことや疑問をもたせ、学習問題を作り、学習の見通しをもたせる。 ○聖徳太子が行った政治などについて調べる活	思 態	◇当時の世の中の様子や聖徳太子の行っていた政治に着目して、問いを見出し、調べたいことや疑問を考えている。 <学び合い共有シート(思①)[記]> ◇聖徳太子が目指した政治が誰にどのよ

		<p>動について学び合い共有シートを使って調べる。 [☆]</p> <p>本時のめあて 聖徳太子が行った政治について調べ、学習問題を作ろう。</p> <p>○調べたことを分類し、調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）をしぼり、単元の見通しをもつ。</p>		<p>うに受け継がれていったかについて予想や調べたいことを出し合い、学習の計画を立て、見通しをもっている。</p> <p><発言・学び合い共有シート（態①）></p>
<p>単元の学習問題 聖徳太子が目指した天皇中心の国造りは、誰が、どのように受け継いでいったのでしょうか。</p>				
		<p>○次時につながるように観点を基に児童が調べる順番を決め、学習計画を立てる。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>		<p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p><Look Back Sheet（態③）></p>
追究する	2	<p>●聖徳太子の死後、国造りがどのように進められたかについて調べ、天皇中心の国造りが整っていったことを理解させる。</p> <p>○つかむ段階で児童が出した調べたいことを基にめあてを作成する。</p> <p>本時のめあて 聖徳太子の死後、誰が、どのような国造りを進めたのでしょうか。</p> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。 [☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成していく。</p> <p>○知識の定着を図るため、共有シートに記述された情報を黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、大化の改新による政治の改革により、天皇の力が強くなり、天皇中心の政治が進められたことを理解している。</p> <p><学び合い共有シート（知①）></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、自己の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p><学び合い共有シート（態②）></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p><Look Back Sheet（態③）></p>
	3	<p>●聖武天皇はどのようにして世の中を治めたかについて調べ、理解させる。</p> <p>○つかむ段階での児童が出した調べたいことを基にめあてを作成する。</p> <p>本時のめあて 聖武天皇は、どのようにして世の中を治めようとしたのでしょうか。</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、全国に国分寺を作らせた理由や聖武天皇の力の大きさについて理解している。</p> <p><学び合い共有シート（知①）></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループ</p>

	<p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成していく。</p> <p>○知識の定着を図るため、共有シートに記述された情報を黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>		<p>で考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート (態②) ></p> <p>◇Look Back Sheet で学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>
4	<p>●聖武天皇の大仏造りは、どのように進められたかについて調べ、理解させる。</p> <p>○つかむ段階での児童が出した調べたいことを基にめあてを作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 聖武天皇の大仏造りは、どのように進められたのでしょうか。</p> </div> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成していく。</p> <p>○知識の定着を図るため、共有シートに記述された情報を黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、大仏造営には当時の人々を救い出したいという聖武天皇の願いがあったことや、当時の技術や国力を結集した国家的大事業であったことを理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート (知①) ></p> <p>◇1 単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート (態②) ></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>
5	<p>●奈良時代は大陸とどのように関わっていたかについて調べ、理解させる。</p> <p>○つかむ段階での児童が出した調べたいことを基にめあてを作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 奈良に都があった頃、日本は大陸とどのように関わっていたのでしょうか。</p> </div> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成していく。</p> <p>○知識の定着を図るため、共有シートに記述された情報を黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、奈良時代には、遣唐使や鑑真などの仏教の影響を受けた文化が栄えたことを理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート (知①) ></p> <p>◇1 単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート (態②) ></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>

まとめる	<p>6 ●これまでの学習をまとめる活動を通して、学習問題を解決し、まとめさせる。</p> <p>○学び合い共有シートを活用し、これまで調べていたことを想起し、単元の学習問題を解決する。 [☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて これまでの学習で調べたことを使って、学習問題を解決し、単元を振り返ろう。</p> </div> <p>○学習問題を解決した後、Look Back Sheetに単元の学習内容の振り返りと学び合い活動についての振り返りを記入する。 [☆]</p>	<p>思考</p> <p>◇天皇中心の国造りの経過を振り返ったり、それぞれの人物の働きを考えたりして、この頃の世の中の様子を考え、表現している。 <課題(思②) [記]></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet(態③) [記]></p>
------	---	---

7 第1時の展開(1/6)

(1) ねらい

聖徳太子が行った政治などについて調べ、今後どのように国造りが進んでいったかについて調べたいことや疑問をもたせ、学習問題を作り、学習の見通しをもたせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

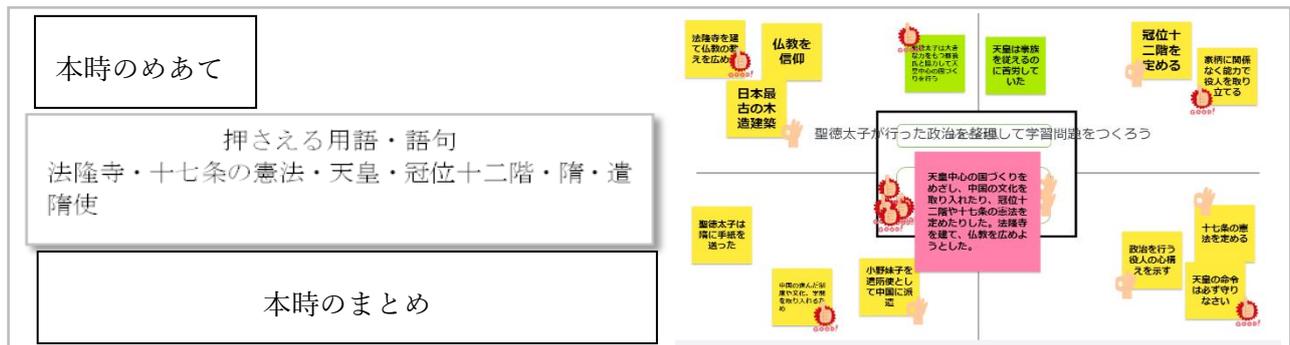
(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入 5分	<p>1 本時の学習のめあてを確認し、見通しをもつ。</p> <p>○前単元の復習を行い、本単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>・大和朝廷が国土を統一したのだったな。</p> <p>・大王はのちの天皇になったのだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 聖徳太子が行った政治について調べ、学習問題を作ろう。</p> </div> <p>・聖徳太子はどんなことをしたのかな。</p>	<p>●教科書やノートを振り返り、前単元の既習知識を確認する時間を設ける。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、前単元の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○教科書の聖徳太子の挿絵を提示し、どのような人物か問い掛け、本時のめあてを設定する。</p> <p>○聖徳太子の情報を児童に提示し、どのような政治を行ったかについて考えていくことを伝える。</p> <p>◇当時の世の中の様子や聖徳太子の行っていた政治に着目して、問いを見出し、調べたいことや疑問を考えている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(思①) [記]></p>
展開 ① 10分	<p>2 聖徳太子が行った政治について調べる。</p> <p>○聖徳太子が行った政治について教科書や資料集で調べ、クラスで共有する。</p> <p>・聖徳太子は法隆寺を建てたのだ。</p>	<p>◎本時は学び合い共有シートの活用方法の説明だけにし、次時から学び合い共有シートを活用することを伝える。</p> <p>○学習問題につなげていくため、聖徳太子が行った政治がどのような目的で行われたのか問い掛け、聖徳太子の死後、どのように思いが受け継がれていったかを考</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子は十七条の憲法や冠位十二階などを定め、天皇中心の国造りを進めたのだね。 ・中国の隋に使者を送って政治の仕組みや文化を取り入れたのだね。 <p>○学級で各グループの調べたことを共有し、用語や語句を押さえる。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法や仕組みを整えることで、天皇中心の国造りを進めたのだね。 	<p>えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●聖徳太子が行った政治について探すことができない児童は、グループで出た意見を参考に教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 <p>○調べたことを発表し、板書にまとめ学級で共有し、キーワードを確認する。 キーワード：法隆寺・遣隋使・天皇・十七条の憲法・冠位十二階</p>
展開② 15分	<p>3 学習問題を設定する。</p> <p>○今後どのような国造りが進められるか予想し、調べたいこと、疑問に思ったことを学び合い共有シートに出し合い、今後の学習の見通しをもち、学習問題を設定する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国造りが順調に進んだと思うよ。 ・中大兄皇子の名前が出てきたから、中大兄皇子が受け継いだのかな。 ・蘇我氏はどうなったのかな。 ・大仏って何のために作ったのかな ・法隆寺や遣隋使も天皇中心の国造りに必要だったのかな。 ・蘇我氏はこれからどうなるのかな。 	<p>○聖徳太子が行った天皇中心の国造りに、今後、様々な立場の人々とどのように関わっていくか問い掛け、学習する際の観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）を作り、学習問題の設定や学習計画を立てやすくする。</p> <p>○教科書の年表を確認し、聖徳太子の死後の出来事に対してイメージをもちやすくする。</p> <p>○学習問題に対して児童の調べたいこと、疑問に思ったことを発表させ、次時からのめあてにし、単元の学習意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調べたいことや予想を書き出せない児童は、グループで出たもので、自分の考えに似たものを探すように声掛けを行う。 <p>○調べたいこと、疑問に思ったことをグループごとに発表させ、分類し、観点を絞っていくことで、どのようなことを調べるか明確にし、単元の学習に見通しをもたせる。</p> <p>○学習問題を設定する際に、再度聖徳太子が行った政治の目的をグループごとのまとめから明らかにし、単元の目標を踏まえた学習問題を設定する。</p>
<p>単元の学習問題</p> <p>聖徳太子が目指した天皇中心の国造りは、誰がどのように受け継いでいったのでしょうか。</p>		
展開③ 5分	<p>4 学習計画を作成する。</p> <p>○調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）をどの順に調べていくか学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表の順に調べていきたいな。 ・あのように大きな大仏をどう造ったかをまず調べてみたいな。 	<p>○学習問題に対して調べる観点をどの順で調べればよいかを考えさせ、次時からのめあてにし、児童の単元の学習意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習計画を立てる際に意見を言うことができない児童は、他の児童の発言を聞き、意思表示ができるようにハンドサインを活用するように促す。 <p>◇聖徳太子が目指した政治が誰にどのように受け継がれていったかについて予想や調べたいことを出し合い、学習の計画を立て、見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;"><発言・学び合い共有シート（態①）></p>
ま	<p>5 本時の学習の振り返りを行う。</p>	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になった</p>

と め 10 分	<p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように天皇中心の国造りが行われたか気になるな。 ・憲法は現在もあるね。 ・協力してめあてを達成できた。 ・めあてと違うことを調べていたので、次からは気を付けよう。 	<p>か、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>
-------------------	--	---

(4) 板書計画



8 第2時の展開 (2/6)

(1) ねらい

聖徳太子の死後、国造りがどのように進められたか調べ、天皇中心の国造りが整っていったことを理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時 間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用 	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 5 分	<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○つかむ過程での予想を想起し、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子の死後、蘇我氏はどうなったのかな。 ・天皇中心の国造りは誰が引き継いだのかな。 	<p>○つかむ過程でもった疑問や調べたいことからめあてを作成し、本時のめあてを設定することで、児童の学習への意欲を高める。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○前時の聖徳太子が行った政治の目的を想起させるとともに、聖徳太子の死後の政治や世の中の様子を予想し、本時の学習の見通しをもたせる。</p>
	<p>本時のめあて</p> <p>聖徳太子の死後、誰が、どのような国造りを進めたのでしょうか。</p>	
展	2 学び合い共有シートを活用し、グル	◎学び合い共有シートを活用することで、グループで調

<p>開 ① 13 分</p>	<p>ープで調べたことを共有し合う。 [☆] ○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。 ・大化の改新で中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を倒した。 ・都に全国から特産物が運ばれた。 ・国を治めるための律令という法律が作られた。</p>	<p>べたことや気づき、考えをつなげていくことができるようにする。 ○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）探すように伝える。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ●蘇我氏がどうなったかなど導入の予想や、活躍した人物などに着目して、調べていくように声掛けを行う。 ◎学び合い活動を通して、調べたことを自由に書き込むように伝え、めあてを達成するために必要なことを多く集め、多面的・多角的に自己の考えをもつことができるようにする。</p>
<p>展 開 ② 7 分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。[☆] ○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。 ・大化の改新で中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を倒した。 ・都に全国から特産物が運ばれた。 ・国を治めるための律令という法律が作られた。 ・律令という法律を作ったのだね。 ・本格的な中国風の都ができた。</p>	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。 キーワード：大化の改新・貴族・藤原京・律令・租・庸・調・木簡 ◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、大化の改新による政治の改革により、天皇の力が強くなり、天皇中心の政治が進められたことを理解している。 ＜学び合い共有シート（知①）＞</p>
<p>展 開 ③ 10 分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。 ○聖徳太子の死後、誰がどのような国造りを行ったか学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。[☆] ・中大兄皇子と中臣鎌足が聖徳太子の死後、蘇我氏を倒して、天皇中心の国造を行った。 ・租・調・庸などの税のしくみを整え、天皇の力は強くなった。 ・律令という法律を作って、豪族たちに守らせた。 ・土地や人々は国のものになった。 ・豪族は貴族になって、天皇の政治を助けたのだね。</p>	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。 ◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。 ◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。 ●グループで話合いの中心になる児童を決め、話合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 ◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。 ◇1 単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 ＜学び合い共有シート（態②）＞</p>

展開 ④ 5分	5 各グループがまとめたものを学級で共有する。 ○めあてに対するグループのまとめを 発表し合い、学級全体で確認する。 [☆] ・大化の改新を行っことで天皇中心の 国造りが行われたのだね。	○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を 整える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> まとめ(例) 中大兄皇子と中臣鎌足が中心となって、蘇我氏を倒 し、大化の改新を行い、天皇中心の国造りを進めた。 </div> ○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載す ることで、知識の定着を図ることができるようにす る。
ま と め 5分	6 本時の学習の振り返りを行う。 ○Look Back Sheetを活用し、振り返 り活動を行う。 ・グループで聖徳太子の死後、誰がど のような国造りを行ったかをみんな で考えることができた。 ・グループで話し合って、自分の考え に他の人の意見が付け加わった。 ・次回も個人でしっかり考えて、グル ープの話合いで発表したい。	◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になっ たか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方など と個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheet に、入力するように促す。 ●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自 分を立てた予想とグループや学級のまとめの違いにつ いて考えるように促す。 ◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の 考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がり や深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学 習の進め方の改善を意識している。 <div style="text-align: right; font-size: small;"> <Look Back Sheet (態③) > </div>

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時のめあて </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 押さえる用語・語句 大化の改新・貴族・藤原京・律令・租・調・庸・木 簡 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のまとめ </div>	
---	--

9 第3時の展開 (3/6)

(1) ねらい

聖武天皇はどのようにして世の中を治めたかについて調べ、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 5分	1 本時の学習の見通しをもつ。 ○つかむ過程での予想を想起し、本時 のめあてを設定する。 ・中大兄皇子と中臣鎌足が協力して天 皇中心の国造りを進めたのだね。	○つかむ過程でもった疑問や調べたいことからめあてを 作成し、本時のめあてを設定することで、児童の学習 への意欲を高める。 ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書 やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国の特産品が都に届けられていたよ。 ・律令という法律を作ったよ。 	<p>確認する時間を設ける。</p> <p>○前時の大化の改新で天皇中心の国造りが進められたことを想起させるとともに、聖武天皇の行った政治について予想し、本時の学習の見通しをもたせる。</p>
	<p>本時のめあて</p> <p>聖武天皇は、どのようにして世の中を治めようとしたのでしょうか。</p>	
展開① 13分	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。 [☆]</p> <p>○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反乱が色々なところで起きていたのだな。 ・都を中心に災害や病気が流行したのだな。 ・都を次々に変えていたのだな。 ・国分寺を全国に建てたのだな。 ・奈良の大仏造りが始まったのだな。 ・聖武天皇の頃の世の中の様子について書かれているものをまとめよう。 	<p>◎学び合い共有シートを活用することで、グループで調べたことや気づき、考えをつなげていくことができるようにする。</p> <p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）探すように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ●大化の改新などで天皇中心の政治が進んだことや、活躍した人物などに着目して、調べていくように声掛けを行う。 <p>◎学び合い活動を通して、調べたことを自由に書き込むように伝え、めあてを達成するために必要なことを多く集め、多面的・多角的に自己の考えをもつことができるようにする。</p>
展開② 7分	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。 [☆]</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺を全国に作ろうとしていたのだね。 ・聖武天皇は仏教の力で世の中を治めようとしていたのだな。 	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>キーワード：聖武天皇・平城京・仏教・国分寺</p> <p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、全国に国分寺を作らせた理由や聖武天皇の力の大きさについて理解している。 <学び合い共有シート（知①）></p>
展開③ 10分	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○聖武天皇がどのようにして世の中を治めようとしたか学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都を何度も移すなんて天皇の力はますます強くなったのだね。 ・聖武天皇は仏教の力で国を治めようとしたのだね。 ・日本各地に国分寺を建てさせたことは、天皇の力がそれだけ広がっ 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話合いの中心になる児童を決め、話合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは</p>

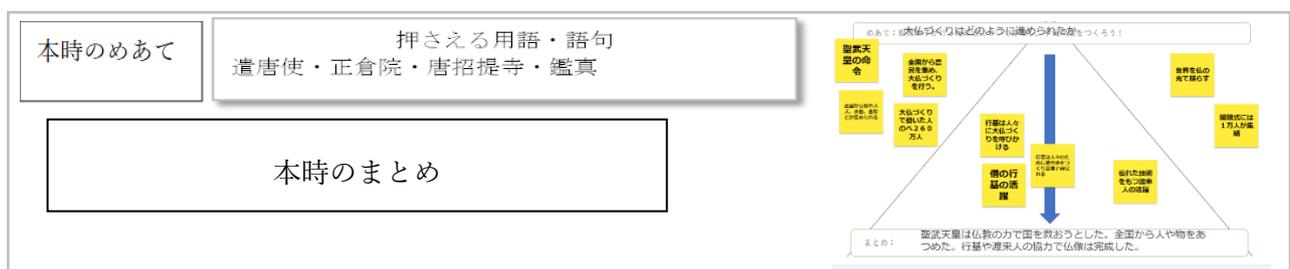
		◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時の学習の見通しをもつ。 ○つかむ過程での予想を想起し、本時のめあてを設定する。 ・聖武天皇は仏教の力で国を治めようとしたのだね。 ・社会が反乱や病気で落ち着かなかつただね。	○つかむ過程でもった疑問や調べたいことからめあてを作成し、本時のめあてを設定することで、児童の学習への意欲を高める。 ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○前時の社会を安定させるために聖武天皇が行ったことを想起させ、本時の学習の見通しをもたせる。
	<p>本時のめあて</p> <p>聖武天皇の大仏造りは、どのように進められたのでしょうか。</p>	
展開 ① 13分	2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。 [☆] ○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。 ・全国から働く人や大仏造りの材料が集まってきたのだね。 ・行基が大仏造りに協力してくれたのだね。 ・渡来人の優れた技術が大仏造りに役立ったのだね。	◎学び合い共有シートを活用することで、グループで調べたことや気づき、考えをつなげていくことができるようにする。 ○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを調べる観点(天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり)探すように伝える。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ●聖武天皇の大仏造りの際、活躍した人物などに着目して、調べていくように声掛けを行う。 ◎学び合い活動を通して、調べたことを自由に書き込むように伝え、めあてを達成するために必要なことを多く集め、多面的・多角的に自己の考えをもつことができるようにする。
展開 ② 7分	3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。 [☆] ○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。 ・東大寺に大仏を建てたのだね。 ・大仏を造るために多くの人や材料が集められたのだね。 ・大仏を造る時、渡来人の技術が役に立ったのだね。 ・行基の活躍でまとめられるね。	◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。 キーワード：聖武天皇の詔・東大寺・渡来人・行基 ◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、大仏造営には当時の人々を救い出したいという聖武天皇の願いがあったことや、当時の技術や国力を結集した国家的大事業であったことを理解している。 <学び合い共有シート(知①)>
展開 ③ 10分	4 めあてに対する考えをグループでまとめる。 ○聖武天皇の大仏造りがどのように進められたか学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。 [☆]	◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。 ◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。 ◎学び合い活動の中で役割(司会、入力、発表者、質問)を分担することで、互いを必要とし目標達成に協

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入 5分	<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○つかむ過程での予想を想起し、本時のめあてを設定する。</p> <p>・渡来人の優れた技術が大仏造りに役立ったのだね。</p> <p>・仏教以外に大陸から伝わったものはないのかな。</p>	<p>○つかむ過程でもった疑問や調べたいことからめあてを作成し、本時のめあてを設定することで、児童の学習への意欲を高める。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○前時の大陸から来た渡来人の優れた技術が大仏造りに貢献したことを想起させ、本時の学習の見通しをもたせる。</p>
<p>本時のめあて</p> <p>奈良に都があった頃、日本は大陸とどのように関わっていたでしょうか。</p>		
展開 ① 13分	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。</p> <p>[☆]</p> <p>○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。</p> <p>・鑑真が正式な仏教を広めてくれたよ。</p> <p>・正倉院には当時の宝が収められているのだね。</p> <p>・遣唐使を派遣して、大陸の文化が日本に広まったのだね。</p>	<p>◎学び合い共有シートを活用することで、グループで調べたことや気付き、考えをつなげていくことができるようにする。</p> <p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを調べる観点(天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり)探すように伝える。</p> <p>●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。</p> <p>●大仏造りで生かされた渡来人の技術や大陸から伝わったものに着目して、調べていくように声掛けを行う。</p> <p>◎学び合い活動を通して、調べたことを自由に書き込むように伝え、めあてを達成するために必要なことを多く集め、多面的・多角的に自己の考えをもつことができるようにする。</p>
展開 ② 7分	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。 [☆]</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <p>・鑑真について書いてあるものをまとめられるね。</p> <p>・大陸の文化が日本で広まったから、聖武天皇の頃は、中国風の文化がさかんになったのだね。</p>	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>キーワード：遣唐使・正倉院・唐招提寺・鑑真</p> <p>◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、奈良時代には、遣唐使や鑑真などの仏教の影響を受けた文化が栄えたことを理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知①)></p>

<p>展開 ③ 10分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○奈良に都があった時の大陸との関わりについて、学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなまとめにしていこうか。まず、みんなの考えを読もうね。 ・鑑真のしたこともまとめに入れた方がいいよね。 ・大陸から進んだ文化がたくさん入ってきたのだね。 ・中国風の文化がさかんになったこともまとめに入れよう。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <p>●グループで話合いの中心になる児童を決め、話合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。</p> <p>●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。</p> <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <small><学び合い共有シート（態②）></small></p>
<p>展開 ④ 5分</p>	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸との交流が盛んになって、中国風の文化がさかんになったのだね。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ（例） 鑑真が正式な仏教を日本に広めるなど、大陸との交流が盛んに行われ、中国風の文化がさかんになった。</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図る。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この頃の文化は、大陸の影響を受けたいたことをみんなで考えることができた。 ・グループで話し合っ、自分の考えに他の人の意見が付け加わった。 ・次回も個人でしっかり考えて、グループの話合いで発表したい。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <small><Look Back Sheet（態③）></small></p>

(4) 板書計画



12 第6時の展開（6/6）

(1) ねらい

これまでの学習をまとめる活動を通して、学習問題を解決し、まとめさせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価</p>
導入 5分	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。 ・大仏造りには、人々の願いが込められていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを提示し、前時までの学習を振り返り、学習問題を整理していくことを伝える。 ●単元を通じた調べる観点（天皇と豪族・新たな制度・大陸との関係・仏教との関わり）を中心に、天皇中心の国造りがどのように行われたか、学び合い共有シートで振り返る。
<p>本時のめあて</p> <p>これまでの学習で調べたことを使って、学習問題を解決し、単元を振り返ろう。</p>		
展開 ① 20分	<p>2 各時間のまとめを整理し、学習問題をまとめていく。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学び合い共有シートを活用し、各時間のめあてに対するまとめを共有する。 ・天皇中心の国造りは、聖徳太子から中大兄皇子と中臣鎌足、聖武天皇が受け継いだのだね。 ・律令を作ったり、税の制度を整えたりして、天皇中心の国造りを進めたのだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各時間のまとめを学び合い共有シートのページに貼り付け、並べて見るができるようにすることで、既習知識を活用し、学習問題の解決への根拠とすることができるようにする。 ◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。 ●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。
展開 ② 10分	<p>3 学級全体で本単元のまとめを確認し、課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○互いの学習問題のまとめを確認し、学級の単元の学習問題のまとめを行う。 [☆] ○聖武天皇と農民になりきって教科書の吹き出しに書き出す。 ・聖武天皇 災害や疫病などが続いていたから、国分寺を建てたり、東大寺に大仏を造ったりして、仏教の力で国を治めようとした。 ・農民 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各グループの単元のまとめを学級全体で確認することができるようにするために、学級全体で共有することができる学び合い共有シートを準備する。 <div data-bbox="756 1637 1398 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元のまとめ（例）</p> <p>聖徳太子が進めた天皇中心の国造りは、中大兄皇子や中臣鎌足、聖武天皇などが、仏教などの大陸の文化を取り入れながら、受け継いでいった。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○次単元につなげるために、天皇中心の国造りが今後どのようなようになっていくかも予想することができるようにする。 ○本単元を振り返り、聖武天皇と農民がどのようなことを考えていたかを考え記述することで、様々な立場から単元の学習内容を振り返ることができるようにす

社会科学学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時〇年〇組 (〇年〇組教室) 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 日本の歴史 今に伝わる室町文化

2 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）の次の内容を受けて設定した。

内容

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(オ) 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに注目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

室町文化は、武家が中心の文化であるが、公家文化も取り入れつつ地方の民衆にも広がっていった文化でもある。金閣や銀閣などが現在でも保存されていること、金閣の東求堂の書院造は現在の和風建築に生かされていること、雪舟の水墨画は現在にも人々に親しまれていることなどについて、社会的事象の見方・考え方を働かせて、この頃の文化と現在とのつながりを捉えられるようにしたい。さらに、導入で、既習事項である平安時代の文化の特色を振り返り、金閣や銀閣などの写真と比較しながら学習問題作りへとつなげられるようにしながら、この時代に生まれた文化は、今日の日本の伝統文化の代表とされるものであることにも目を向けさせていきたい。

3 指導方針

○つかむ過程では

- ・学習問題を作る際に、金閣と銀閣の資料を比較し、興味をもたせる。その後、銀閣の書院造を提示し、現在の和室の造りに似ていることに気付かせる。その気付きから、他にも現在に続いているものはないかという疑問をもたせ、教師主導でなくクラス全体で学習問題を作り上げることで主体的に学習に取り組むことができるようにする。

○追究する過程では

- ・調べ学習を行う際に、教師が調べる観点（大名への政策・人々への政策・外国への政策）を提示し、児童が観点を基に円滑に調べ学習を行うことができるようにする。
- ・学び合い活動をする際に、グループ内で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし学習問題やその解決に向けためあてを達成するために協力し、取り組むことができるようにする。
- ・学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合い、個人の考えをもたせた上で、グループで考えを練り上げることで、めあての達成に向けて、進んで学習に取り組むことができるようにする。
- ・振り返り活動を取り入れ、自らの学習を振り返り、個人の考えを基にグループの考えを練り上げる際の思考の変容や深まりに気付く場を設定することで、自らの学習を改善することができるようにする。

○まとめる過程では

- ・まとめる際に、追究する過程で活用した学び合い共有シートの各時間のまとめを基に児童の言葉で学

習問題に対するまとめを考えることができるようにする。

- ・外国の人に室町文化を紹介するために紹介文を考えさせることで、多面的・多角的にまとめていくことができ、学習内容の知識・技能の定着を図る。

○家庭で学習する場面では

- ・「学習サイト」を更新し、授業で大切なキーワードや板書、動画などを視聴できるようにすることで、学習内容を振り返ったり、知識や興味・関心を広げたりすることで、主体的な学習につなげることができるようにする。

4 単元目標

(1) 知識及び技能

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解し、文化財や地図、年表などの資料で調べ、まとめる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

京都の室町に幕府が置かれた頃の人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化からその特色を考え、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化からその特色について、予想したり計画を立てたりして、協力し学ぶことを通して学習を振り返り、自らの考えの変容や深まり、学習の進め方の改善を意識しながら、学習問題を追究し、解決する。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、文化財や地図、年表などの資料で調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ① 京都の室町に幕府が置かれた頃の人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出している。
- ② 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化からその特色を考え、表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。
- ③ Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。

6 指導と評価の計画（全3時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆]：ICT活用	重点	◇評価項目<方法（観点）> 〔記〕：記録に残す評価
つかむ	1	●提示した金閣と銀閣、書院造の資料から特色に気付き、学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。 ○金閣と銀閣の資料を提示し、室町時代の文化に親しむ。	思考	◇金閣と銀閣、書院造の特色に気付き、問いを見出している。 ＜学び合い共有シート（思①）〔記〕＞ ◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、予想や学習の計画を立てたり、

		<p>本時のめあて 金閣や銀閣の特色を比べながら、学習問題を作ろう。</p> <p>○金閣と銀閣の特徴と比較して感じたことを学び合い共有シートを使って比較したものをまとめる。 [☆]</p>		<p>学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p><観察・学び合い共有シート(態①)></p>
<p>単元の学習問題 室町時代の文化について調べ、どのような特色があるかまとめよう。</p>				
		<p>○文化の意義が広いこと、天平文化・国風文化を想起させ「芸術・食・文学・行事・その他」に観点をしぼり、次時以降の学習の見通しをもつ。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>		<p>り取り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p><Look Back Sheet(態③)></p>
追究する	2	<p>●室町時代の文化はどのようなものがあり、現在の生活文化とつながりについて調べ、まとめさせる。</p> <p>○つかむ過程の予想を想起し、めあてをつかむ。</p> <p>本時のめあて 室町時代の文化について調べ、グループでまとめよう。</p> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。 [☆]</p> <p>○室町文化の特色を調べる観点「芸術・食・文学・行事・その他」を意識し、本時と次時で調べ、まとめる。</p> <p>○調べ学習の時間の後、グループでまとめを行い、次時のクラスでの共有に向けて、発表内容を確認しておくように伝える。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、文化財などの資料で調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。</p> <p><学び合い共有シート(知)></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p><学び合い共有シート(態②)></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p><Look Back Sheet(態③)></p>
まとめる	3	<p>●前時で共有した室町時代の文化についてクラス全体でまとめ、紹介文を書かせる。</p> <p>本時のめあて 室町時代の文化について調べ、どのような特色があるかまとめ、紹介文を書こう。</p>	思態	<p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化からその特色を考え、表現している。</p> <p><紹介文(思②)></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまと</p>

	<p>○クラスで共有する際に、観点を基に児童が発表したキーワードを、まとめていく。</p> <p>○本単元のキーワード「墨絵・茶の湯・生け花・能・狂言・御伽草子・現在につながる文化」を使い、室町文化の紹介文を書き、発表する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。[☆]</p>	<p>めを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
--	--	---

7 第1時の展開 (1/3)

(1) ねらい

提示した金閣と銀閣、書院造の資料から特色に気付き、学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入 10分	<p>1 本時の学習のめあてを確認し、見通しをもつ。</p> <p>○前単元の復習を行い、本単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>・鎌倉幕府と御家人のご恩と奉公の関係が崩れていったのだな。</p> <p>○鎌倉幕府の滅亡と室町時代の始まりについて学ぶ。</p>	<p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前単元の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○児童が鎌倉時代から室町時代へ変わったことを理解することができるように、鎌倉時代の滅亡と室町時代の始まりについても教科書を使い説明する。</p> <p>○前時の振り返りと金閣・銀閣の写真を提示することで、本時の見通しをもたせる。</p>
<p>本時のめあて</p> <p>金閣や銀閣の特色を比べながら、学習問題を作ろう。</p>		
展開 ① 10分	<p>2 教科書や資料集の金閣・銀閣の写真からそれぞれの特色と、感じたことをまとめ、クラスで共有する。</p> <p>○金閣と銀閣の特色を比べて、感じたことを学び合い共有シートに入力する。</p> <p>・足利義満が作った金閣は華やかだね。</p> <p>・足利義政が作った銀閣は地味だね。</p> <p>・今までの時代の建物と違うね。</p> <p>・書院造は、今の和室に似ているね。</p> <p>・書院造以外にも、今に伝わるものがあるのかな。</p>	<p>◎学び合い共有シートにシンキングツールを取り入れ、金閣と銀閣の特色をまとめたり、感じたことを自由に入力したりすることができるようにする。</p> <p>○単元の学習問題につなげていくため、今までの文化で学習した寝殿造の資料を提示することで、金閣・銀閣を比較することができるようにする。</p> <p>●資料を比較し、違いなどに気付くことができない児童も、グループで出た予想を参考にするよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。</p> <p>○調べたことを全体で共有し、キーワードを確認する。</p> <p>キーワード：金閣・足利義満・銀閣 足利義政・書院造</p> <p>◇金閣と銀閣、書院造の特色に気付き、問いを見出している。 <学び合い共有シート(思①) [記] ></p>

<p>展開② 10分</p>	<p>3 学習問題を作る。</p> <p>○グループで出された金閣・銀閣の特色とそれらから感じたことを発表し、室町時代の文化についての学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白黒の絵が素敵だね。 ・何の踊りを踊っているのかな。 ・生け花だったらおばあちゃんがしているよ。 	<p>○学習問題を作る際に、現在とつながる文化（水墨画・能・田楽・生け花など）を取り上げ、単元の目標を踏まえた学習問題を作る。</p> <p>○学習問題を調べるために必要な観点を児童と考え、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにする。</p>
<p>単元の学習問題</p> <p>室町時代の文化について調べ、どのような特色があるかまとめよう。</p>		
<p>展開③ 10分</p>	<p>4 学習の見通しをもち、学習計画を作成する。</p> <p>○学習問題を調べるための観点を確認し、学習の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの勉強だと絵と文学なんかがあったよ。 ・祭りなどの行事も文化だと思うよ。 ・衣食住も文化だね。 <p>○グループで調べる観点の順番を考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今も続いている行事を調べたいな。 	<p>○今まで学習した天平文化や国風文化（絵画・文学・衣食住・行事）を想起し、調べる観点「芸術・食・文学・行事・その他」を明確にする。</p> <p>○グループでどの順で調べていくか相談し、学習計画を立てることで、主体的に取り組むことができるようにする。</p> <p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><発言・学び合い共有シート（態①）></p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>5 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がたくさん入力していたので、私も次回は頑張りたいです。 ・友達と協力して学習問題を作れた。 ・相談した順番なら自分たちで進めていけそうだ。 	<p>◎どのような意見が参考になったかや新たな気づき、個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet（態③）></p>

(4) 板書計画



8 第2時の展開（2/3）

(1) ねらい

室町時代の文化はどのようなものがあり、現在の生活文化とつながりについて調べ、まとめさせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価</p>
導入 5分	<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題と各グループで作成した学習計画を想起し、本時のめあてを確認する。 ・文化について調べるのだったね。 ・いくつか観点があったな。 ・僕は文学から調べたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○つかむ過程でもった観点を、基に立てた学習計画を想起し、本時のめあてを設定することで、児童の学習への意欲を高める。 ●前時で学習した金閣や銀閣、書院造など振り返り、既習知識を確認する時間を設ける。 ○各グループが作成した学習計画を確認させ、調べる観点「芸術・食・文学・行事・その他」を再度提示することで、本時の学習の見通しをもたせる。
<p>本時のめあて 室町時代の文化について調べ、グループでまとめよう。</p>		
展開 ① 25分	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○室町時代の文化について、観点ごとに調べる。 [☆] ・雪舟が墨絵を大成させたのだね。 ・自然の雄大さを表現したのだね。 ・今と同じ3回の食事になったのだ。 ・今の昔話の基になった御伽草子もできたのだね。 ・お祭りなども室町時代にできたものが多いね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。 ◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。 ◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。 ●教科書や資料集の文章も読み、室町文化の特色について確認するように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化について、文化財などの資料で調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。 <small><学び合い共有シート(知)></small>
展開 ② 10分	<p>3 学び合い共有シートを活用し、室町文化の特色について、グループで話し合い、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習で、共有した情報から共通点を見だし、室町時代の文化についてのまとめを行う。 [☆] ・おじいちゃんの家水墨画が飾ってあるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各観点の共通点を見出し、室町時代の文化の特色をまとめていくように声掛けを行う。 【共通点】 <ul style="list-style-type: none"> ・現在も多くの人が室町時代の文化に親しんでいる。 ・貴族や武士だけでなく、民衆にも広まった。 ●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見で

	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道をやったことがあるよ。 ・生け花をおばあちゃんがしてるよ。 ・この頃からうどんは食べられていたのだね。 ・去年、狂言をみんなで見たね。 ・室町時代の文化は、今の時代にも伝わるものが多いね。 	<p>も入力した意見をグループに伝えるように促す。</p> <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <学び合い共有シート(熊②)></p>
ま と め 5 分	<p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水墨画を担当して、しっかり調べることができた。 ・室町文化が今に伝わるものが多いことを初めて知った。 ・友達と協力してめあてを達成できた。 	<p>◎どのような意見が参考になったかや新たな気づき、個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p><Look Back Sheet(熊③)></p>

(4) 板書計画

本時のめあて

観点

墨絵・能楽・茶の湯・生け花・御伽草子

本時のまとめ

9 第3時の展開 (3/3)

(1) ねらい

前時で共有した室町時代の文化について発表し、クラス全体でまとめ、紹介文を書かせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時 間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導 入 5 分	<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○学習課題と各グループでまとめた室町時代の文化の特色を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町文化は、今でも伝わるものが多いのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各グループで前時の学習を振り返り、室町時代の文化の特色について再度確認することができるようにする。 ○学習問題をまとめた後、外国から来た人に室町文化の紹介文を書くことを伝え、本時のめあてをつかむ。

	<p>・外国から来た人に何を紹介しよう。</p> <p>本時のめあて 室町時代の文化について調べ、どのような特色があるかまとめ、紹介文を書こう。</p>	
<p>展開 ① 10分</p>	<p>2 各グループが室町時代の文化の特色について発表する。</p> <p>○発表児童の画面を共有し、発表を行う。[☆]</p> <p>・室町文化が今に続いているという考えは、私たちと同じだな。</p> <p>・文化が貴族や武士だけでなく、庶民にまで広がっていったことは、まとめていなかったな。</p> <p>・室町文化が今でも多くの人に親しまれていることをクラスのまとめに入りたいな。</p>	<p>○発表する児童の資料を各児童の画面で共有することで、全児童が発表者の意見に集中することができるようにする。</p> <p>◎自分たちのグループのまとめを振り返り、他のグループのまとめと比べながら、学習問題に対するまとめを練り上げていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめの例 室町時代の文化の特色は、現在の生活につながるものも多く、今も多くの人に親しまれている。</p> </div> <p>○各グループの発表から単元のキーワードを板書し、知識の定着を図ることができるようにする。 キーワード：墨絵・能楽・茶の湯・生け花 御伽草子・現在につながる文化</p>
<p>展開 ② 20分</p>	<p>3 室町時代の文化の紹介文を書く。</p> <p>○学習を振り返りながら、外国から来た観光客へ紹介文を作成する。[☆]</p> <p>・狂言は、民衆の生活などの日常の会話を用いたり、滑稽な物まねを取り入れたりしたものです。とても面白いのでぜひ見てください。</p> <p>・水墨画（すみ絵）は、鎌倉時代に中国から伝わりました。室町時代になって、雪舟が芸術として大成させました。天橋立図や四季花鳥図などはとても美しいのでぜひ見てください。</p> <p>・生け花は書院造の床の間を飾るためにさかんになりました。今でも生け花教室が開かれていますので、ぜひ体験してみてください。</p>	<p>○今まで学習した室町時代の文化を紹介文にまとめる活動を取り入れ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>○「外国から来た観光客に室町時代の文化について紹介しよう」という課題を出すことで、相手に伝わるように、より詳しく室町時代の文化をまとめることができるようにする。</p> <p>○学習支援ソフトで課題を出し、室町文化の紹介文を全員が個人で取り組むことができるようにする。</p> <p>○室町時代の文化のキーワードから選んで、紹介文を作成するように知らせ、複数のキーワードを関連付けながら内容をまとめているかで評価することを伝える。</p> <p>●なかなか書き出すことができない児童には、学び合い共有シートを振り返り、文化にどのようなものがあったか、見返してまとめるように声掛けを行う。</p> <p>◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、この頃の文化からその特色を考え、表現している。 ＜紹介文（思②）＞</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <p>・室町文化は、貴族や武士だけでなく庶民に伝わったことで、今でも多くの人に親しまれているのだね。</p> <p>・墨絵や、茶の湯など素晴らしい文化が日本にはあるので、外国の人にもっと知ってもらいたいな。</p>	<p>◎どのような意見が参考になったかや新たな気づき、個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学</p>

・次単元も自分たちで学習問題を解決していこう。	習の進め方の改善を意識している。 <div style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③)></div>
-------------------------	--

(4) 板書計画

本時のめあて

本時のキーワード
墨絵・能楽・茶の湯・生け花・御伽草子

学習問題に対するまとめ

めあて：空明時代の文化について調べ、どのような特色があるかまとめよう。

すみ絵	雪舟	能と狂言がさかんに	観阿弥・世阿弥	御伽草子 ものくさ本 抄
水墨画	書院造と関係	生け花 様 の間に飾る	1日3食	田樂え (田樂)
茶の湯 茶室 を作る	松山水 電 楽の白隠	ゆきこさん とこひるの 縁 いろはの 御		

まとめ：空明時代の文化の特色は、現代の生活につながるものが多く、今も多くの人に親しまれている。

社会科学学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時〇年〇組（〇年〇組教室） 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 わたしたちの生活と食料生産 これからの食料生産とわたしたち

2 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）の次の内容を受けて設定した。

内容

（2）我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

（ア）我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

（ウ）地図帳や地球儀、各種資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入などの外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

食生活の変化と食料生産の関係を捉える学習で、食料の多くを輸入に依存する我が国では、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保など、多くの重要な課題を抱えている。特に食料自給率を上げることが喫緊の課題である。本単元では、多くの課題の中で「食品ロス」の問題も取り上げている。多くの食料を輸入する一方で大量の「食品ロス」が発生していることをつかませ、食生活のあり方を考えさせるきっかけにすることができる。また、食の安全・安心については、検疫所で働く人の話を取り上げる。輸入食品が増える中で、検疫所で行われている検査は、食の安心・安全を確保する重要な取り組みである。これらの課題や取り組みについて理解を深め、これからの食料生産について、児童に考えを深めさせたい。

3 指導方針

○つかむ過程では

- ・学習問題を作る際に、児童が興味をもつことができるような資料を提示し、そこから調べたいこと、疑問に思ったことを出させ、教師主導でなく学級全体で学習問題を作り上げていくことで、見通しをもち主体的に学習に取り組むことができるようにする。

○追究する過程では

- ・調べ学習を行う際に、教師が調べる観点（大名への政策・人々への政策・外国への政策）を提示し、児童が観点を基に円滑に調べ学習を行うことができるようにする。
- ・学び合い活動をする際に、グループ内で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし学習問題やその解決に向けためあてを達成するために協力し、取り組むことができるようにする。
- ・学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合い、個人の考えをもたせた上で、グループで考えを練り上げることで、めあての達成に向けて、進んで学習に取り組むことができるようにする。
- ・振り返り活動を取り入れ、自らの学習を振り返り、個人の考えを基にグループの考えを練り上げる際の思考の変容や深まりに気付く場を設定することで、自らの学習を改善することができるようにする。

○まとめる過程では

- ・まとめる際に、追究する過程で活用した学び合い共有シートの各時間のまとめを基に児童の言葉で学習問題に対するまとめを考えることができるようにする。
- ・日本のこれからの食料生産について考えさせることで、多面的・多角的にまとめていくことができ、

学習内容の知識・技能の定着を図る。

○家庭で学習する場面では

- ・「学習サイト」を更新し、授業で大切なキーワードや板書、動画などを視聴できるようにすることで、学習内容を振り返ったり、知識や興味・関心を広げたりすることで、主体的な学習につなげることができるようにする。

4 単元目標

(1) 知識及び技能

食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解し、調べたことを図表や文などでまとめる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出し、食料生産の課題について考え、食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを比較・検討・複合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多面的・多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、予想したり学習の計画を立てたり、協力して学んだりすることを通して、学習を振り返り、自らの考えの変容や深まり、学習の進め方の改善を意識しながら、学習問題を追究し、解決する。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

- ① 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。
- ② 調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ① 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。
- ② 食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを比較・検討・複合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多面的・多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。
- ③ Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。

6 指導と評価の計画（全5時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆]：ICT活用	重点	◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
つかむ	1	●日本の食料自給率や外国産の食料の輸入、外国産の価格の安さなどが分かる資料を提示し、日本のこれからの食料生産について考えることができる	思 態	◇食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出

	<p>学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 食料生産の課題について話し合い、学習問題を作ろう。</p> </div> <p>○資料から日本の食料自給率や外国産の食料の輸入、外国産の価格について気付いたことを学び合い共有シートに入力する。</p> <p>○日本の食料生産の現状を踏まえ、疑問や、調べたいことをグループで学び合い共有シートに入力し、学級で発表し、学習問題を設定する。</p>	<p>し、食料生産の課題について考え表現している。 <発言(思①) [記]></p>
<p>単元の学習問題</p> <p>日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいか考えよう。</p>		
	<p>○日本のこれからの食料生産についてどのような取組を行っていくか予想を立て、学習の見通しをもつ。</p> <p>○つかむ段階で児童の予想からしぼった調べる観点(食料自給率、安全・安心、課題の解決に向けた取組、生産者と消費者)を基にめあてを作成する。</p> <p>○次時につながるように観点を基に児童が調べる順番を決め、学習計画を立てる。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	<p>◇食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態①) [記]></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet(態③)></p>
<p>追究する</p>	<p>2 ●これからの食料生産について、食料自給率の観点から資料を読み取り、理解させる。</p> <p>○提示された食生活の変化の写真を見て気付いたことを発表し合い、食生活の変化が食料生産に与えた影響を予想し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 食生活の変化は、食料生産にどのような影響をあたえているのでしょうか。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。 [☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p>	<p>知態</p> <p>◇食生活の変化から食料自給率や輸入など外国との関わりについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知①)></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態②)></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生</p>

	○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]		活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) >
3	<p>●これからの食料生産について、食の安心・安全の観点から資料を読み取り、理解させる。</p> <p>○食の安全に関する新聞記事を提示し、気付いたことを発表し、食の安全への取り組みを予想させ、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 食の安全・安心に対する取り組みは、どのように行われているのでしょうか。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。 [☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇食の安全・安心への取り組みなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 <学び合い共有シート (知①) ></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <学び合い共有シート (態②) ></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
4	<p>●これからの食料生産について、課題の解決に向けた取組の観点から、資料を読み取り、理解させる。</p> <p>○農家の人口の割合の変化と土地利用の変化のグラフで我が国の食料生産の課題を再認識する。</p> <p>○地産地消に関する資料を提示し、気付いたことを発表し、地産地消の取組が食料の安定的な確保にどのような影響を与えるか予想させ、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて 地産地消の取組は、食料を安定して確保し続けるうえで、どのようなよい点があるのでしょうか。</p> </div> <p>○学び合い共有シートを活用し、学び合い活動を行い、1単位時間ごとのめあてを達成しながら、単元の学習を解決していく。 [☆]</p> <p>○個人でめあてに対する考えをもち、それらをグループでまとめ、めあてを達成する。</p> <p>○知識の定着を図るため、各グループで調べたことを黒板に整理し、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。 [☆]</p>	知態	<p>◇食料を安定的に確保するための取組としての地産地消について、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 <学び合い共有シート (知①) ></p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <学び合い共有シート (態②) ></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。 <Look Back Sheet (態③) ></p>
まと	5 ●学習問題をまとめ、これからの食料生産について自分の考えをもち、意見文で表現させる。	思態	◇食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習

める	<p>○食料生産の課題と改善するための取り組みについて前時までの学び合い共有シートを開き確認し、児童に発表させ、整理していく。</p> <p>○本時のめあてを確認し、学習問題に対する自分の考えを意見文としてまとめていくことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて これからの食料生産をどのように進めたらよいか考え、意見文を書こう。</p> </div> <p>○考えを広げ、深めるために、意見文を紹介するとともに、学習サイトに掲載する。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。[☆]</p>	<p>してきたことを比較・検討・複合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多面的・多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。 <意見文(思②)[記]></p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet(態③)[記]></p>
----	---	--

7 第1時の展開(1/5)

(1) ねらい

日本の食料自給率や外国産の食料の輸入、外国産の価格の安さなどが分かる資料を提示し、日本のこれからの食料生産について考えることができる学習問題を作り、予想を立て、学習の見通しをもたせる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

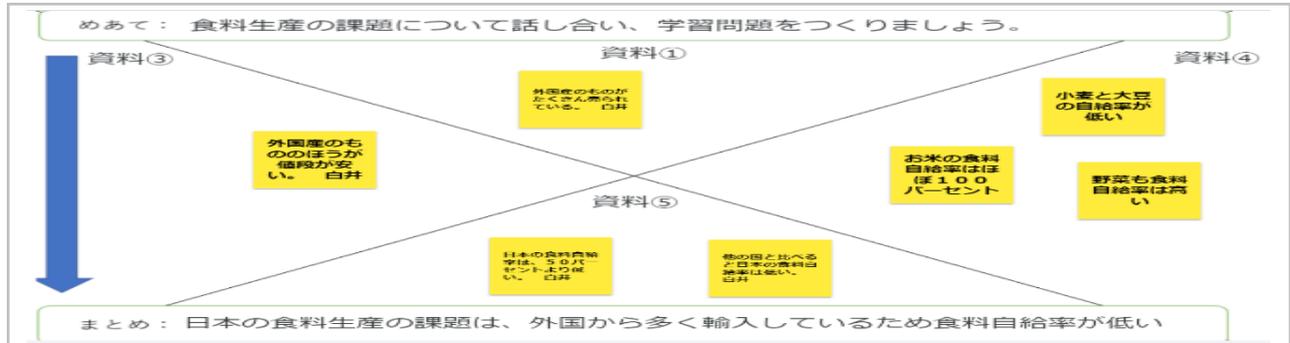
(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入 5分	<p>1 本時の学習のめあてを確認し、見通しをもつ。</p> <p>○前単元の復習を行い、本単元の学習に見通しをもつ。</p> <p>・農業も水産業も消費者のことを考えて工夫していたな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のめあて 食料生産の課題について話し合い、学習問題を作ろう。</p> </div>	<p>○本時の学習の見通しをもたせるために、日本の農業・水産業の課題や取り組みについて復習する。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前単元の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p>
展開 ① 15分	<p>2 資料から日本の食糧生産の課題について資料から読み取る。</p> <p>○資料を読み取り、学び合い共有シートに入力していく。</p> <p>・スーパーには、外国産のものがたくさんあるね。</p> <p>・国産のものより、外国産のものの方が安いね。</p> <p>・主な外国と比べて日本の食料自給率は低いね。</p>	<p>○資料を読み取る前に「食料自給率」の言葉を説明し、資料の読み取りを円滑に行えるようにする。</p> <p>資料：スーパーマーケットで売られる外国産の食品 日本産の価格と外国産の価格 日本と主な国の食料自給率 主な食料の自給率</p> <p>◎学び合い共有シートは資料ごとの枠を作り、シンキングツールとして使うことができるようにすることで、児童がどの資料について入力したかが分かるようにする。また、教師が見返した際、誰がどの意見を書いた</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・特に小麦や大豆の自給率は低いね。 ・お米はほぼ100%の自給率だね。 <p>○全体で各グループのまとめを共有し、日本の食料生産の課題をまとめる。</p>	<p>か分かるように、名前も入力するように声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●意見を入力することができない児童も、グループで出た意見から教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 <p>○まとめを全体で共有し合い、日本の食料生産の課題を共有する。</p> <p>日本の食料生産の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から多く輸入しているので、食料自給率が低い。
展開② 15分	<p>3 学習問題を設定する。</p> <p>○日本の食料生産の課題から、調べたいこと、疑問に思ったことを発表し、学習問題を作成する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで食料自給率が低いのだろう。 ・外国産のものが安いからかな。 ・外国産のものは安全なのかな。 ・どうすれば食料自給率は上げられるかな。 ・外国産のものより安く売ればいいのか。 ・でも安く売ったら、生産者の収入が減ってしまうよ。 ・どうしたら国産のものを買ってもらえるのかな。 ・おいしいものなら高くても買ってくれと思うよ。 	<p>◎調べたいこと、疑問に思ったことを学び合い共有シートに入力させ、グループで共有し合い、学級で発表し、児童がどのような学習問題にするか考えることができるようにする。</p> <p>○児童の「なぜ」「どうすれば」という疑問から、予想をあげさせ、集約することで調べる観点（食料自給率、安全・安心、課題の解決に向けた取組、生産者と消費者）をもたせ、学習問題を設定させやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●疑問などを出すことができない児童も、グループで出た疑問などを参考にしよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。 ●疑問などを出すことができない児童は、他の児童の発言を聞き、意思表示ができるようにハンドサインを活用するように促す。 <p>○学習問題を設定する際に、再度食糧生産の課題を振り返り、単元の目標を踏まえた学習問題を設定する。</p> <p>◇食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出している。</p> <p style="text-align: right;"><発言(思①)[記]></p>
<p>単元の学習問題</p> <p>日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいか考えよう。</p>		
展開③ 5分	<p>4 学習計画を作成する。</p> <p>○調べる観点（食料自給率、安全・安心、課題の解決に向けた取組、生産者と消費者）をどの順で調べていくか学習計画を作成する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率が低い理由について、まず調べたいな。 ・食の安全について調べたいな。 ・食料自給率を上げる取り組みについて、調べたいな。 	<p>◎学習問題に対して調べる観点をどの順で調べればよいかを考えさせ、次時からのめあてにし、児童の単元の学習意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習計画を立てる際に意見をなかなか言うことができない児童は、他の児童の発言を聞き、意思表示ができるようにハンドサインを活用するように促す。 <p>◇食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取組などについて、予想や学習の計画を立てたり、学習を振り返ったりしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(態①)[記]></p>
まとめ	<p>5 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p>	<p>◎どのような意見が参考になったかや新たな気づき、個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p>

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力してめあてを達成できた。 ・友達がたくさん発言していたので、私も次回は頑張りたいです。 	<p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気付き、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>
----	--	---

(4) 板書計画



8 第2時の展開 (2/5)

(1) ねらい

これからの食料生産について、食料自給率の観点から資料を読み取り、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

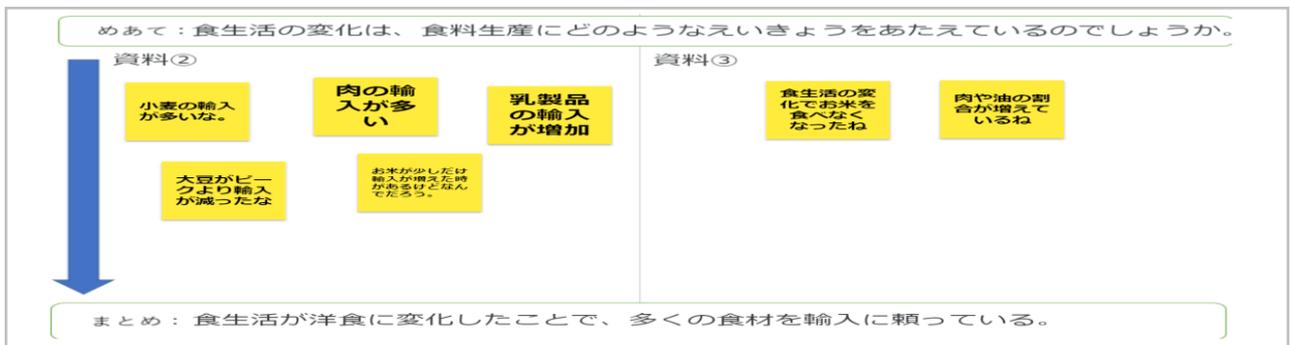
(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入5分	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つかむ過程での予想と教科書の資料から単元の学習を見通す。 ・家の朝食はパンだな。 ・和食のお家は少ないね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。 ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○朝食が和食か洋食かについての質問と食生活の変化の写真を提示し、気付いたことを発表させ、食生活の変化が食料生産に与えた影響を予想させ、児童にめあてをつかませる。
<p>本時のめあて</p> <p>食生活の変化は、食料生産にどのような影響をあたえているのでしょうか。</p>		

<p>展開① 13分</p>	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。</p> <p>○教科書の資料を読み取り、調べる観点（食料自給率）について、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。〔☆〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦や肉、乳製品の輸入が増加しているね。（洋食化） ・大豆が多かった時より減少しているね。（和食離れ） ・お米を食べる量が減ったね。（和食離れ） ・畜産物・小麦・油が増えたね。（洋食化） 	<p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。</p> <p>◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。</p> <p>資料：食料品別の輸入量の変化 一人1日あたりの食べ物の割合の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食料自給率の変化について気付かせるため、グラフが大きく変化している部分に注目するように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。
<p>展開② 7分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活が洋食化したことで、外国産のものを多く輸入することになったのだね。 ・日本は多くの食料を輸入に頼っているね。 	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>◇食生活の変化から食料自給率や輸入など外国との関わりについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート（知①）></p>
<p>展開③ 10分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○食生活の変化が、食料生産にどのような影響を与えているか学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。〔☆〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、みんなの考えをよく読もう。 ・日本人の食生活が和食から洋食に変わったことが、とても重要だと思う。 ・洋食が増えたから、外国から輸入する量が多くなったのだね。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割（司会、入力、発表者、質問）を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話合いの中心になる児童を決め、話合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート（態②）></p>

<p>展開 ④ 5分</p>	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。</p> <p>[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん輸入していることが、とても大切だね。 ・だから、日本の食料自給率が下がっているのか。 ・たくさん外国から輸入しているのに、食品ロスが問題になっているのだね。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ（例） 食生活が洋食化したことで、多くの食料を輸入に頼っている。</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>○多くの食材を輸入していると同時に、大量に廃棄している食品ロスについての資料を提示し、グループで話し合うことで、今後の食料生産について考えるきっかけを作る。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料自給率が下がっている原因を理解することができた。 ・食料自給率を上げるために、もっと和食を食べようと思った。 ・友達と協力してめあてを達成できた。 ・なぜ、もっと日本で大豆を作らないのだろうか。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet（態③）></p>

(4) 板書計画



9 第3時の展開（3/5）

(1) ねらい

これからの食料生産について、食の安心・安全の観点から資料を読み取り、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

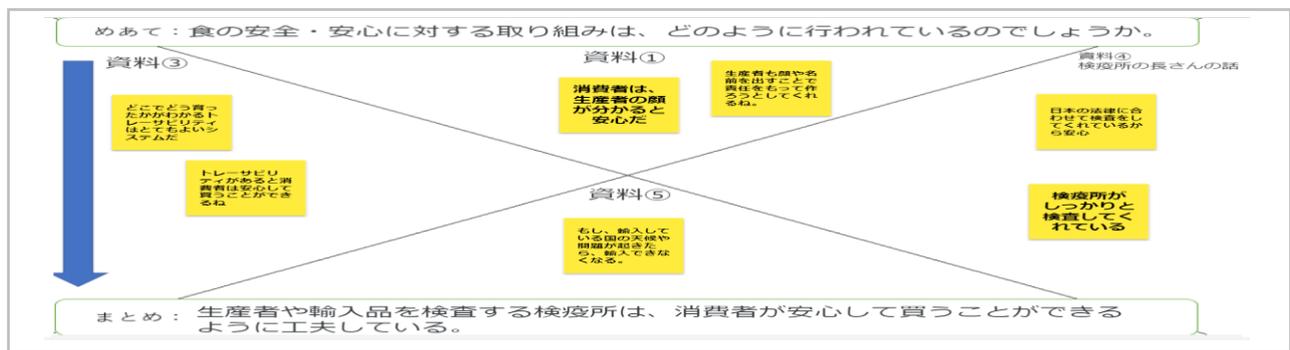
<p>時間</p>	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する児童への支援</p> <p>◇評価項目<方法（観点）> [記]：記録に残す評価</p>
<p>導</p>	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあて</p>	<p>○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバック</p>

<p>入 5 分</p>	<p>を設定する。 ○つかむ過程での予想と教科書の資料から単元の学習を見通す。 ・食品偽装ってなんだろう。 ・外国産のものが安全かどうか確かめるのかな。 ・国産だと嘘をつくこともあるのか。</p>	<p>し、児童の学習への意欲を高める。 ●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。 ○食の安全と輸入食品に関する新聞記事の資料を提示し、食の安全・安心についてどのような取り組みがあるか予想させ、めあてをつかむ。</p>
<p>本時のめあて 食の安全・安心に対する取り組みは、どのように行われているのでしょうか。</p>		
<p>展 開 ① 13 分</p>	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。 ○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。[☆] ・生産者の顔や名前が表示されていると誰が作っているか分かって消費者は安心できるね。 ・トレーサビリティによって、いつでもどのように育ったかが分かるから消費者は安心だね。 ・検疫所では輸入された食品をしっかりと検査してくれているから安心だね。 ・日本の法律に合わせた検査で、安心して外国産のものを買えるね。</p>	<p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。 ◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。 資料：生産者の顔や名前を示す表示 産地を表示して売られる牛肉 輸入食品の検査と検疫所で働く長さんの話 ●資料の写真だけでなく、教科書の文章も読むように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。</p>
<p>展 開 ② 7 分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。 ○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。 ・検疫所は、外国から病気が入ってこないようにするだけでなく、食料品の安全も検査してくれているな。</p>	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。 ◇食の安全・安心への取り組みなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 <学び合い共有シート(知①)></p>

<p>展 開 ③ 10 分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○食の安全・安心について学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、みんなの考えをよく読もう。 ・安全なものを食べたいよね。 ・トレーサビリティは、食の安全・安心のためにとても大切だね。 ・消費者として、安全・安心なものが食べられるのはよいことだね。 ・生産者も安全・安心なものを作ると消費者に選んでもらえるね。 ・生産者も消費者も考えていることは同じなのだね。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>○めあてをまとめる際、生産者と消費者の視点を取り入れることで、取組の意味を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の視点 消費者に安心してもらうため ・消費者の視点 安全なものを買いたい <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割(司会、入力、発表者、質問)を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。 <p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <学び合い共有シート(熊②)></p>
<p>展 開 ④ 5 分</p>	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者も検査所も私たちが安心して買うことができるように努力してくれているのだね。 ・外国のものだから安全でないと決めつけるのはよくないね。 ・外国からたくさん輸入しているから、外国で小麦などがあまりとれなかったら、輸入することができずに困ってしまうね。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div data-bbox="762 1205 1401 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ(例) 生産者や輸入品を検査する検査所は、消費者が安心して買うことができるように工夫している。 (生産者表示・トレーサビリティ・検査所)</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>○気候などの影響で、他の国から食料を輸入することができない可能性があることを動画(NHK for school)で視聴し、グループで話し合うことで、今後の食料生産について考えるきっかけを作る。</p>

ま と め 5 分	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者も消費者も安全・安心なものを作りたい、食べたいと考えているのだね。 外国であまり作物がとれなかったら、私たちの食べ物にも影響があるのだね。 安全なものをつくる工夫は米作りでもやったよね。 協力してめあてを達成できた。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③)></p>
-----------------------	---	--

(4) 板書計画



10 第4時の展開 (4/5)

(1) ねらい

これからの食料生産について、課題の解決に向けた取組の観点から、資料を読み取り、理解させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

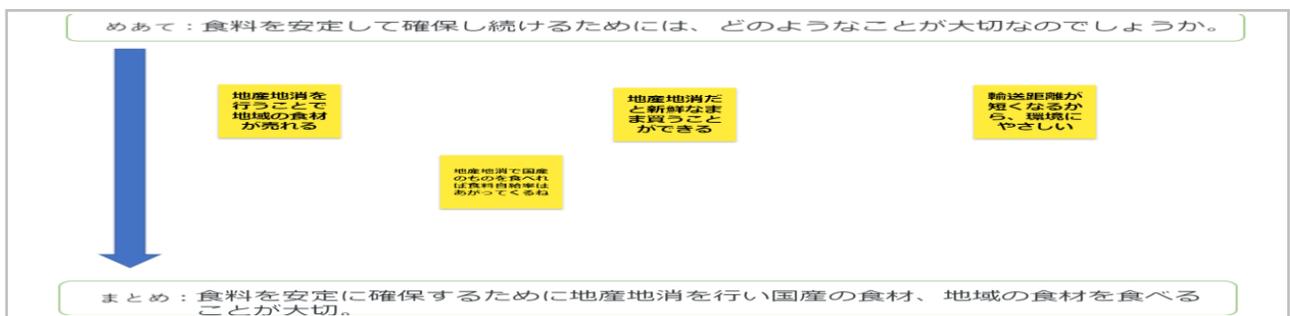
(3) 展開

時 間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想される児童の反応 <p>[☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 <p>◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導 入 10 分	<p>1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。</p> <p>○つかむ過程での予想と教科書の資料から単元の学習を見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> どうすれば輸入に頼らず、食料を確保できるかな。 自給率を上げるにはどうしたらいいかな。 	<p>○前時の個人の振り返りを学級全体にフィードバックし、児童の学習への意欲を高める。</p> <p>●自信をもって学習に臨むことができるように、教科書やノートを振り返り、前時の学習内容を近くの児童と確認する時間を設ける。</p> <p>○産業別の人口の割合の変化と土地利用の変化の資料を提示し、食料の安定確保の課題を見いだすことで、本時のめあてを設定する。</p> <p>○教科書で「地産地消」の言葉を説明する。</p>
<p>本時のめあて</p> <p>地産地消の取り組みは、食料を安定して確保し続けるうえで、どのようなよい点があるでしょうか。</p>		

<p>展開 ① 10分</p>	<p>2 学び合い共有シートを活用し、グループで調べたことを共有し合う。</p> <p>○教科書の資料を読み取り、気付いたことを学び合い共有シートに入力する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消が大切だね。 ・地域のもを食べることができれば、地域の生産者も農産物が売れるのでいいね。 ・輸送時間が短いと新鮮だし、環境にも優しいね。 	<p>○教科書や資料集から学習のめあてを達成するために必要なことを探し出すように伝える。</p> <p>◎学び合い共有シートにシンキングツールの枠を作り、読み取ったものを分類することができるようにする。</p> <p>○地産地消が生産者と消費者に与える利点について教科書や資料集から学習のめあてを達成するための内容を読み取るように伝える。</p> <p>資料：地元の農産物を販売する道の駅 商店街で県内の農産物を販売する様子 農業協同組合の後藤さんの話</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料の写真だけでなく、教科書の文章も読むように声を掛ける。 ●調べることができない児童も、グループで出たものを読み、教科書を再度確認するよう声掛けを行うことで、取り組むことができるようにする。
<p>展開 ② 5分</p>	<p>3 学級で各グループの調べた内容を共有し合う。</p> <p>○学び合い共有シートを使って、学級で学習した内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を意識すると環境にもいいのだね。 ・地域のもを買えば、新鮮なものを食べることができるね。 ・地産地消を意識すると日本の自給率が上がるかもしれないね。 	<p>◎学習内容の漏れや偏りをなくすことと、学習した言葉の意味などを理解することができるように、学級全体で調べた内容を発表し、黒板にまとめ、知識の定着を図ることができるようにする。</p> <p>◇食料を安定的に確保するための取組としての地産地消について、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。</p> <p style="text-align: right;"><学び合い共有シート(知①)></p>
<p>展開 ③ 10分</p>	<p>4 めあてに対する考えをグループでまとめる。</p> <p>○食の安全・安心について学び合い共有シートを活用し、めあてに対する個人の考えを書き、グループで考えをまとめる。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、みんなの考えをよく読もう。 ・生産者は、消費者が地産地消を意識すれば、もっと野菜などを作れるから、食料自給率が上がるかもしれないね。 ・地産地消を意識すると環境にもいいし、新鮮なものを買うことができるね。 ・外国から食料品を輸入すると、輸送する際に、たくさんの二酸化炭素が排出されるね。 	<p>◎めあてに対するまとめを個人で考え、その後グループで練り上げていくようにする。</p> <p>○めあてをまとめる際、生産者と消費者の視点(利点)を取り入れることで、取組の意味を考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の視点：地元の農家が助かる 農地の減少を食い止められる ・消費者の視点：新鮮な野菜が手に入る 食料自給率が上がる <p>◎学び合い活動で個人の考えをもち、グループの意見交流を行い比較・検討・複合していくことで、より考えを練り上げ、まとめていくように伝える。</p> <p>◎学び合い活動の中で役割(司会、入力、発表者、質問)を分担することで、互いを必要とし目標達成に協力し、取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループで話し合いの中心になる児童を決め、話し合いに参加できない児童へ声を掛けるように伝える。 ●発表していない児童は、同じ意見や似たような意見でも入力した意見をグループに伝えるように促す。

		<p>◎意見が埋もれてしまったり、入力した児童の意図とは異なる解釈が行われてしまったりしないように、学び合い活動で考えをまとめる際、入力した児童の意見を丁寧に確認しながら行うように伝える。</p> <p>◇1 単位時間ごとに学び合い共有シートを活用し、個人の考えを基にグループで考えを練り上げ、めあてを達成しようとしている。 <学び合い共有シート(態②)></p>
展開 ④ 5分	<p>5 各グループがまとめたものを学級で共有する。</p> <p>○めあてに対するグループのまとめを発表し合い、学級全体で確認する。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食料自給率を上げるために、地産地消を行い、国産の食材を食べることが大切だね。 	<p>○児童画面を共有し、他のグループの発表を聞く姿勢を整える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ(例) 食料を安定して確保するために、地産地消を行い、国産の食材や地域の食材を食べることが大切。</p> </div> <p>○学級のまとめも板書し、授業後に学習サイトに掲載することで、知識の定着を図ることができるようにする。</p>
まとめ 5分	<p>6 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetを活用し、振り返り活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地産地消という言葉を知りました。消費者にも生産者にも環境にもよいことなので、実践したいです。 スーパーにどれぐらい地域のものが売っているのかな。 友達と協力してめあてを達成できた。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet(態③)></p>

(4) 板書計画



11 第5時の展開(5/5)

(1) ねらい

学習問題をまとめ、これからの食料生産について自分の考えをもち、意見文で表現させる。

(2) 準備

教科書・資料集・タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 15分	1 本時の学習の見通しをもち、めあてを設定する。 ○前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。 ・食料自給率を上げるのは大切だな。 ・生産者が増えることをしなくてはいけないな。 ・食の安全・安心をもっと高めていきたいな。 ・実際にどんな取り組みが行われているのかな。	○単元の学習問題を提示し、前時までの学習を活用し、学習問題を解決していくことを伝える。 ●今までの学習が振り返ることができるように、日本の食糧生産の課題と改善に向けた取り組みを黒板に示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元の学習問題 日本の食料生産にはさまざまな課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいのでしょうか。 課題：食料自給率が低い 輸入に頼る 農業に従事する人の減少 耕地面積の減少 取組：食の安全・安心のためのトレーサビリティや 検疫所 食料の安定確保のための地産地消 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本時のめあて これからの食料生産をどのように進めたらよいか考え、意見文を書こう。 </div>
展開 ② 25分	2 各時間のまとめを整理し、学習問題をまとめていく。 [☆] ○学び合い共有シートを活用し、各時間のめあてに対するまとめを確認しながら、学習問題に対する自分の考えを意見文に表現する。 ・私は食の安全・安心がとても重要だと思いました。どこでどのように作られているのかをもっと簡単に確認する方法を考えていきたいです。 ・輸入が多い日本では、検疫所の役割がとても重要だと思いました。きちんと検査することで、私たちが安心して食べることができます。 ・日本の食料自給率が低いことは問題だと思います。食料自給率を上げるために、国内で作られた農産物を残さずに食べていきたいと思いました。また、地産地消を意識して地域で作られたものを買いたいと思います。	◎これからの食料生産をどのように進めていくかについて意見文を書くための参考に、板書と単元の学習で使用した学び合い共有シートを振り返るように伝える。 ○意見文を書く際に、日本の食糧生産が抱える課題や取組、学習で出たキーワードを参考に、自分はどのような取り組みを行うかを考えるように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 観点 食料自給率、安全・安心、課題の解決に向けた取組、生産者と消費者 </div> ●意見文を書き出すことができない児童には、課題に着目させ、その課題を解決するために自分にどのようなことできるかを考えさせる。また、教科書の「食料生産の新たな取り組み」122・123ページを参考にするように伝える。 ○意見文を発表し、学習問題をまとめる。 ◇食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを比較・検討・複合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多面的・多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。 <意見文(思②) [記]>

ま と め 5 分	<p>3 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○Look Back Sheetで本時の学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料自給率を上げるためにどのようなことをすればよいか、しっかりと考えることができました。 ・自分の考えを意見文にまとめることができた。 ・学び合い共有シートを振り返りながら、意見文を書くことができた。 	<p>◎自分の考えの変化やどのような意見が参考になったか、新たな気づき、疑問、学び合い活動の進め方などと個人の学習態度を振り返って、Look Back Sheetに、入力するように促す。</p> <p>●振り返りを書くことができない児童には、導入時に自分が立てた予想とグループや学級のまとめの違いについて考えるように促す。</p> <p>◇Look Back Sheetで学び合い活動を振り返り、個人の考えやグループのまとめを基に、自らの考えの広がりや深まり、新たな気づき、生活とのつながりなどや学習の進め方の改善を意識している。</p> <p style="text-align: right;"><Look Back Sheet (態③) ></p>
-----------------------	---	---

(4) 板書計画

学習問題	<p>本単元の学習問題のキーワード</p> <p>課題：食料自給率が低い、食の安全・安心、輸入</p> <p>取り組み：トレーサビリティ、検疫所、地産地消</p>
------	---